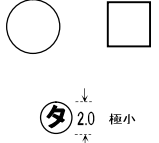
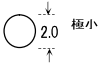
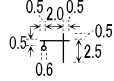
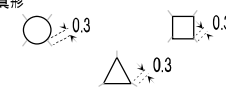
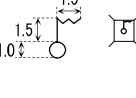


小物体

大分類	分類コード	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考
		レイヤ	項目データ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
小	その他小物体	42	31	タ ン ク	一般 道路 河川				真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	面 円	E1 E3				3	水、油、ガス、飼料等を貯蔵するために地上に設置されたタンクをいう。			
								極小 記号の表示位置の点情報を取得											
			一般				真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	面 円	E1 E3				石油、ガス等のタンクは、直径が図上2.0mm以上のものについてその正射影を表示する。ただし、直径が2.0mm未満であっても、多数が集合している場合には、景況を表現するよう極小の記号で表示する。						
					極小 記号の表示位置の点情報を取得														
		32	給 水 塔	一般 道路 河川					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	塔の上に水槽を設置したものをいう。			
									記号表示位置を点情報で取得										
33	火 の 見	一般 道路 河川					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	火の見櫓及び簡易火の見（棒状）をいう。					
							記号表示位置を点情報で取得												

小物体

大分類	分類コード	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考
		レイヤ	項データ目タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
その他小物体	42	34	煙 突	一般 道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 		面	E1			3	規模が大きく目標となるものをいう。					
						記号表示位置を点情報で取得 													
			一般			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 													
						記号表示位置を点情報で取得 													
		35	高 塔	一般 道路 河川	一般		真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 												
						ティック部は自動発生して表示する 記号 													
36	電 波 塔	一般 道路 河川	一般		真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 														
					記号表示位置を点情報で取得 														

小物体

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
その他の小物体	42	37	照 明 灯	一般道路	道路				記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	照明用のために作られたものをいう。			
		38	防 犯 灯	一般道路	道路				記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	街路等に設置された専用柱を持つものをいう。			
		41	灯 台	一般道路 河川				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	航路標識のうち、灯台をいい、灯火装置のある部分を表示する。					
								記号表示位置を点情報で取得 											
				一般				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1									
								記号表示位置を点情報で取得 											
		42	航空灯台	一般道路 河川				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	航空機が位置の確認等を行えるように一定の信号電波を発する施設をいう。					
								記号表示位置を点情報で取得 											
		43	灯 標	一般道路 河川				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	灯標は、航路標識のうち、灯標、灯柱及び導標について、固定された規模の大きなものを表示する。					
								記号表示位置を点情報で取得 											
				一般				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	点	E5									

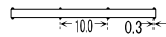
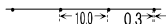
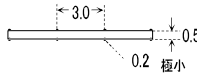
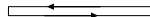
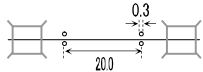
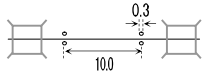
小物体

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
その他の小物体	42		45	ヘリポート	一般 道路 河川					真形 標識線の外周を取得 (始終点座標一致)		円	E3			3	ヘリコプターの離着陸のための施設で、常設のものをいう。		
										極小 中央位置を点情報で取得		点	E5						
			51	水位観測所	道路 河川					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	水位観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。		
										極小 中央位置を点情報で取得		点	E5						
							一般			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	1. 水位観測所は、主要なものを記号で表示し、ボール等の量水標は表示しない。 2. 験潮所（場）は注記で表示する。		
										極小 中央位置を点情報で取得		点	E5						
			52	流量観測所	道路 河川					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	流量観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。		
										極小 中央位置を点情報で取得		点	E5						
			53	雨量観測所	道路 河川					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	雨量観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。		
										極小 中央位置を点情報で取得		点	E5						
			54	水質観測所	道路 河川					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	水質観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。		
										極小 中央位置を点情報で取得		点	E5						

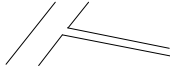
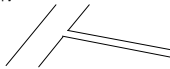
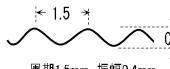
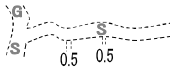
小物体

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考
		レイヤ	項 目 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
その他の小物体	42	55	波浪観測所	一般 河川				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	波浪観測所をいい、注記を原則とする。				
								極小 中央位置を点情報で取得										点	E5
		56	風向・風速観測所	一般 道路 河川				真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1			3	風向・風速観測所をいい、注記を原則とする。				
								極小 中央位置を点情報で取得										点	E5
		61	輸送管（地上）	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致）		面	E1			3	水、油、ガス、ガソリン等を輸送する管で目標になるものをいう。大規模な輸送管はその内容によって（水）、（油）等の注記を添えて表示する。			
				一般											2	1. 輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送するものでその直径が50cm以上、長さが図上おおむね2.0mm以上のものを地上及び空間（地上1.0m以上を標準とする）に区分して表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、重要なものについては表示することができる。 2. 輸送管は、正射影の方向に一致させて表示する。 3. 大規模な輸送管は、その内容物によって（水）又は（油）等の説明注記（図式分類コード81-81）を添えて表示する。 4. 輸送管の地下の部は表示しない。			

小物体

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区分	デー タ	レ コ ー ド	方 向	属 性 数 値				
その他の小物体		42	62	輸送管（空間）	一般 道路 河川				外周を取得（始終点座標一致） 	47	面	E1	有		3	地上1.0 m以上の高さに設置された輸送管をいう。			
									中心線を取得 										
		65	送 電 線	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1	有		2	1. 輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送するものでその直径が50cm以上、長さが図上おおむね2.0 mm以上のものを地上及び空間（地上1.0m以上を標準とする）に区分して表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、重要なものについては表示することができる。 2. 輸送管は、正射影の方向に一致させて表示する。 3. 大規模な輸送管は、その内容物によって（水）又は（油）等の説明注記（図式分類コード81-81）を添えて表示する。 4. 輸送管の地下の部は表示しない。			
									中心線を取得 （鉄塔間で区切らず連続データとする） 										
					一般					線	E2			3	1. 送電線は、おおむね20kV以上の高圧電流を送電するものについて表示するのを原則とする。ただし、地中にある部分は表示しない。 2. 送電線は正射影の方向に一致させて表示する。 3. 送電線の鉄塔は、高塔（図式分類コード42-35）の記号を適用し、木柱及びコンクリート柱は表示しない。	○			

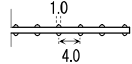
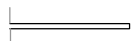
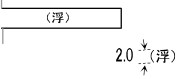
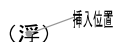
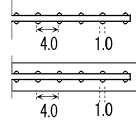
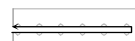
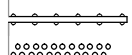
水部等

大分類	分 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区分	デー タ	レ コ ド	方 向				
水 部 等	51		01	河 川	一般 道路 河川				界線を取得 	線	E2			3	平水時における河川の水涯線をいう。河川の景況に影響を与えない小凹凸は適宜総合又は省略することができる。			
				水涯線 （河川）（湖池等） （海岸線）		一般		界線を取得 	1. 水涯線は、河川、湖池等の水涯線及び海岸線の正射影を表示する。ただし、水部の景況に影響を与えない小凹凸は、適宜総描若しくは省略することができる、地下の部は表示しない。 2. 河川は、平水時において流水部の幅が図上0.4mm以上のものを表示する。ただし、主要な河川等にあつては、流水部の幅が図上0.4mm未満であっても表示することができる。 3. 湖池等とは、湖、池、沼等（人工的に貯水したものを含む。）をいい、図上おおむね2.0mm平方以上のものを表示する。湖池等は固有名で注記するのを原則とし、プール等狭小で注記することが困難な場合は、「W」の記号（図式分類コード51-05）を添えて表示する。 4. 海岸線は、満潮時における海岸の水涯線の正射影を表示する。									
			02	細 流	一般 道路 河川			中心線を取得 	線	E2			3	河川の流水部の幅が図上0.2mm以上、0.4mm未満の河川をいう。				
				一 条 河 川		一般								1. 一条河川とは、流水部の幅が図上0.2mm以上、0.4mm未満の河川をいい、解糸状の線で表示する。ただし、地下の部は表示しない。 2. 地物等と錯雑する地域にあり容易に識別できない場合は、適宜の位置に流水方向（図式分類コード52-41）の記号を表示する。				
			03	か れ 川	一般 道路 河川			範囲を示す縁線を取得 	線	E2			3	水の流れていない川をいい、断続する河川の流路を明示する場合に、景況に従い砂地及びれき地の記号で表示する。				
				—		一般								1. かれ川とは、通常水の流れていない川をいい、断続している河川の流路を明示する場合に表示する。 2. かれ川は、砂れき地（図式分類コード63-40）の記号を適用する。				

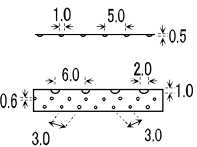
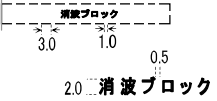
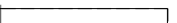
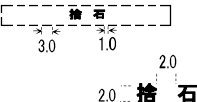
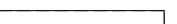
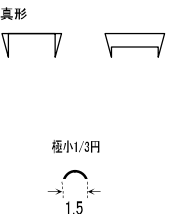
水部等

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考
		レイヤ	項 目 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
水部等	51	04	用水路	一般道路河川					界線を取得 		線	E2			3	流水部の幅が図上0.4mm以上の用水路を表示する。			
		05	湖 池	一般道路河川	一般		界線を取得 		線	E2			3	湖、池、沼等（人工的に貯水したものを含む）の水涯線をいい、河川の表示法に従って表示する。注記されないものには「W」記号を添える。					
							図郭に対して平行垂直入力 		点	E5			3						
		06	海岸線	一般道路河川			界線を取得 		線	E2			3	満潮時における海岸の水涯線をいい、河川の表示法に従って表示する。 図上海部として識別し難い場所においては記号を表示する。					
							記号表示位置を取得 		点	E5									
07	水路 地下部	一般道路河川			地下水路線線を取得 		線	E2			3	河川、用水路等における地下の部分で、経路の明確なものについて表示する。							
11	低位水涯線（干潟線）	一般道路河川			界線を取得 		線	E2			3	低潮位において、海面上に表れる砂泥地における海水部との境をいう。							

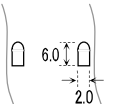
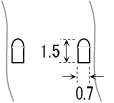
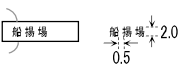
水部等

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図 形 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向	属 性 数 値				
水 部 に 関 する 構 造 物	52		02	栈 橋（鉄、コンクリート）	一般 道路 河川					海側を右に外周を取得 		線	E2	有		4	船舶の乗降用に水部に突出した形状のもので、鉄製又はコンクリート製のものをいう。		
			—				一般			被覆（図式分類コード61-10）参照							1. 栈橋は、その射影の幅が図上0.4mm以上で、長さが図上4.0mm以上のものを表示する。 2. 栈橋（鉄・コンクリート）は、その射影により被覆（小）（図式分類コード61-10）の記号を適用する。		
			03	栈 橋（木）	一般 道路 河川					外周を取得 		線	E2			4	栈橋のうち、木製のものをいう。		
				栈 橋（木製・浮栈橋）			一般										栈橋は、その射影の幅が図上0.4mm以上で、長さが上4.0mm以上のものを表示する。		
			04	栈 橋（浮き）	一般 道路 河川					外周を取得 		線	E2			4	栈橋のうち、水底に固定されていないものをいう。		
									図郭に対して平行垂直入力 (浮) 挿入位置 	点									E5
			11	防 波 堤	一般 道路 河川					直七 低い方を右に取得 	11	線	E2	有		4	波浪を制御する堤防、埠頭、海岸浸食を防ぐ突堤等をいう。		○
									射影部（上端線）低い方を右に取得 										
									射影部（下端線）高い方を右に取得 	12									
			—				一般			被覆（図式分類コード61-10）参照 透過水制（図式分類コード52-32）参照		—	—			—	防波堤は、その規模、景況等により被覆（図式分類コード61-10）又は透過水制（図式分類コード52-32）の記号を適用する。ただし、その頂の幅が図上0.2mm未満の場合は0.2mmで表示する。		

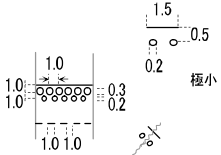
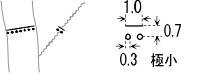
水部等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
水部に 関する 構造物等	52		12	護岸 被覆	一般 道路 河川		直に 低い方を右に取得 						4	浸食を防ぐために、水際を固めたものをいう。	○				
		射影部（上端線）低い方を右に取得  内部りん形点は自動発生して表示	11	線			E2	有											
		射影部（下端線）高い方を右に取得 	12																
			13	護岸 杭（消波ブロック）	一般 道路 河川		外周を取得 		線	E2			4	波を弱めるために、水中から水上にかけて規則的に置かれた構造物の集合体をいう。					
		説明注記 線状に		注記			E7		3										
		14	護岸 捨石	一般 道路 河川		外周を取得 		線	E2			4	水勢をそぐために、水中に投げ入れられた石をいう。						
		説明注記 線状に				注記	E7		3										
		19	坑口 トンネル	一般 道路 河川		真形 坑口部分の外周を取得 （始終点座標一致） 		面	E1			3	水路が地下に出入りする部分をいう。						
		真形 坑口部分の外周を取得 				線	E2												
		極小 中央位置の点と方向を取得 				方向	E6	有											

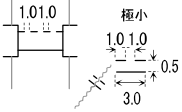
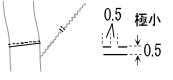
水部等

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線号	適 用	端点一致	備 考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
水部に 関する 構造物	52		21	渡船発着所	一般 道路 河川				表示位置の点と方向を取得						3	1. 渡船発着所は、定期的に入又は車両を運搬する船舶の発着所及び遊覧船の発着所に適用し、著名なもの又は規模の大きなものは注記を添えて表示するのを原則とする。 2. 発着地点に棧橋がある場合は、進行方向に記号の先端を向けて表示する。 3. 発着地点に棧橋がない場合は、河川においては記号の先端を上流に向けて岸に平行に表示し、湖池等においては記号が倒立しないように表示する。 4. 河川の幅が狭小な場合は、その中央に記号を表示する。			
				一般				方向	E6	有		2							
			22	船 揚 場	一般 道路 河川				真形 外周を取得（始終点座標一致） 	説明注記 線状に入力 船 揚 場		面	E1		4	船の陸揚げ等を行うための構造物をいう。			
									注記	E7		3							
			—	ダム				被覆（図式分類コード61-10）参照 人工斜面（図式分類コード61-01）参照			—	—		—	1. ダムとは、洪水の調整、発電、上水道、農工業等のための各種用水の貯水を目的として設けられた工作物をいい、砂防ダムを含むものとする。 2. ダムは、その形態により被覆（図式分類コード61-10）及び人工斜面（図式分類コード61-01）の記号を適用する。				

水部等

大分類	中分類	分類コード		名称	地図情報レベル				図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	項目		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
水	部	52	26	滝	一般 道路 河川		真形（上流部）低い方を右に取得		11	線	E2	有	4	地形的段差により流水が急激に落下する場所をいう。				
							真形（下流部）高い方を右に取得		12									
							極小 中央位置の点と方向を取得			方向	E6	有						
					一般		真形（上流部）		11	線	E2		4	1. 滝とは、流水が急激に落下する場所をいい、高さがおおむね3.0m以上のものを表示する。 2. 滝は、上端は河川を横断して4号線で描き、射影部は下流側に直径0.3mmの小円形をりん形に描いて表示する。 3. 滝の幅が図上0.8mm未満のものは、極小の記号で表示する。				
真形（下流部）		12																
極小 中央位置の点と方向を取得			方向	E6			有											

水部等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
水部に 関する 構造物		52	27	せき	一般 道路 河川					真形（水通し上流部）中心線を取得	11	線	E2			4	流水の制御や河床の保護を目的として設けられた工作物又は用水の取水等のため河川を横断して設けられた工作物をいい、その主要なものを表示する。		
										真形（水通し下流部）中心線を取得	12								
										真形（非越流部）外周を取得	99								
										極小 中央位置の点情報と方向を取得		方向	E6	有					
					一般					真形（上流部）中心線を取得	11	線	E2			4	1. せきとは、流水の制御や河床の保護を目的として設けられた工作物又は用水の取水等のため河川を横断して設けられた工作物をいい、その主要なものを表示する。 2. せきのうち、常時水面上にある部分は、その正射影を実線で表示し、常時溢流する部分は、破線を上流側に描いて表示する。		
										真形（下流部）中心線を取得	12								
										極小 中央位置の点情報と方向を取得		方向	E6	有					

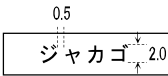
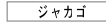
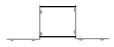
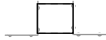
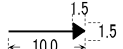
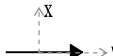
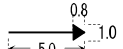
水部等

大分類	分類コード	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線号	適 用	端点一致	備 考
		レイヤ	項データ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
水部に 関する 構造物等	52	28	水 門	一般 道路 河川				両側の構造物 外周を取得 (始終点座標一致) 仕切り部：幅がある場合：両側を取得 幅がない場合：中心線を取得 		線	E2		4	取排水、水量調節等のために設けられた工作物をいう。 ドックは入口に水門記号を表示する。					
				一般				真形 										線	E2
		31	不透過水制	一般 道路 河川		直に 低い方を右に取得 	11	線	E2	有	4	流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいう。その構造によって不透過水制と透過水制に区分する。							
				一般		射影部（上端線）低い方を右に取得 							12	被覆 (図式分類コード61-10) 参照 	—	—	—	—	1. 水制とは、流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいい、平水時に水面上に露出し、その長さが図上おおむね4.0mm以上のものについて、表示する。 2. 不透過水制は、被覆 (図式分類コード61-10) の記号を適用する。ただし、その頂部の幅が図上0.2mm未満のものは、0.2mmとして表示する。

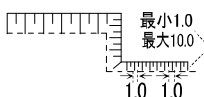
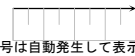
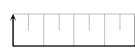
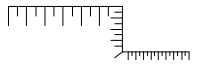
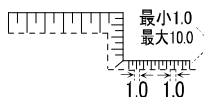
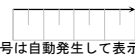
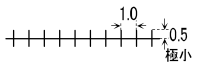
水部等

大分 分類	分類 コード	分類 コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端 点 一 致	備 考	
		レイ ヤ	項 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図 形 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向	属 性 数 値					
水 部 に 関 する 構 造 物	52		32	透過水制	一般 道路 河川				真形 外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			4	流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいう。その構造によって不透水制と透過水制に区分する。 1. 水制とは、流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいい、平水時に水面上に露出し、その長さが図上おおむね4. 0mm以上のものについて、表示する。 2. 透過水制は、護岸のためのブロック、防波堤及び流水を制御するための杭・捨石を表示する。 3. 透過水制の記号は、その区域の広さに応じて直径0. 5mmの円を1. 0mm間隔にりん形に配置して表示する。ただし、その幅が図上1. 0mm未満の場合は、1. 0mmとして表示する。				
					一般		真形 外周を取得（始終点座標一致） 													
				33	水制水面下	(河川)			真形 外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			3	水制の水面に隠れた部分について表示する。「製品仕様書」による。				
				35	根 固	一般 道路 河川				真形 外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			4	護岸のための工作物で景況に従って表示する。長いものは中間を省略することができる。			
										説明注記 線状に入力 		注記	E7			3				
36	床固 陸部	一般 道路 河川				真形 外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			4	護岸のための工作物で景況に従って表示する。長いものは中間を省略することができる。							
						説明注記 線状に入力 		注記	E7			3								
37	床固 水面下	一般 道路 河川				真形 外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			3								
						説明注記 線状に入力 		注記	E7											

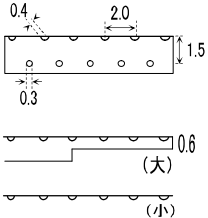
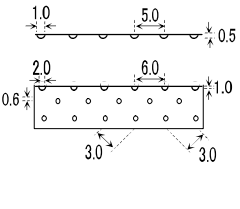
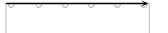
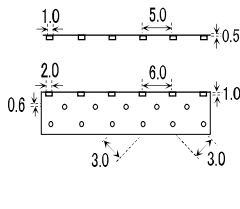
水部等

大分類	分類コード	名 称		地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線号	適 用	端点一致	備 考
				レイヤ	項目	500	1000		2500	5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				
水部に関する構造物	52	38	蛇 籠	一般 道路 河川					真形 外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			4	長いものは中間を省略することができる。		
								説明注記 線状に入力 		注記	E7			3				
		39	敷石斜坂	一般 道路 河川		一般			外周を取得（始終点座標一致） 		面	E1			3	漁港等における敷石斜坂は、外周の正射影を表示する。		
		41	流水方向	一般 道路 河川					表示位置の点と方向を取得 				E6	有	6	河川の流水方向が図上で容易に識別できない場合に表示する。		
					一般											1. 流水方向は、河川の流水方向が図上で容易に識別できない場合に表示する。 2. 流水方向の記号は、川幅が広い場合は河川の中央部に、川幅が狭く記号が入らない場合は、河川の記号を間断して表示する。		
		55	距 離 標	河川					記号 表示位置の点情報を取得 		点	E5			3	河口又は河川の合流点から、100m又は200mごとに河岸に設置する標識をいう。		
56	量 水 標	河川					記号 表示位置の点情報を取得 		点	E5			3	河川の水位の観測に用いる標識をいう。				

土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端点一致	備 考																		
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値																						
土地法利用等	61	01	人工斜面	一般道路 河川				上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示 	11	線	E2	有		3	盛土部及び切土により人工的に作られた急斜面（道路、鉄道等の盛土部及び切土部、造成地の急斜面等）をいう。頂部を実線で、傾斜部分は長ケバと短ケバを交互に射影の1/2間隔に表示する。 長ケバの長さは射影幅、短ケバの長さは射影幅の1/2とする長いものは最小1.0mm最大10.0mmとし中間を省略することができる。	○																					
								下端線 高い方を右に取得 	12																												
								上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示する 	11									2																			
								下端線 高い方を右に取得 	12																												
				土 堤	一般道路 河川			上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示 	11									線	E2	有		3	被覆のない堤防及び敷地等の周囲にある盛土をいう。 長いものは中間を省略することができる。ケバの長さは最小1.0mm最大10.0mmとし表示する。	○													
								下端線 高い方を右に取得 	12																												
								一般																							E2			2	土堤等とは、被覆のない堤防及び敷地等の周囲にある盛土をいい、人工斜面（図式分類コード61-01）の記号で表現できない形状のものについて表示する。		
		03	表法肩の法線	河川					法線を取得 		線	E2			3	河川法第3条第2項の河川管理施設である堤防の表法肩の法線をいう。																					

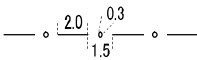
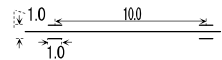
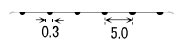
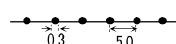
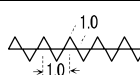
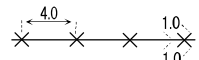
土地利用等

大分類	分	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線号	適 用	端点一致	備 考	
		レイヤ	項 目 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向					属性 数 値
土 地 法 利 用 面 等	61	10	被覆				一般		直ヒ 低い方を右に取得 	11	線	E2	有		4	1. 被覆とは、道路、河岸、海岸等の斜面を保護するためのコンクリート、石積等の堅ろうな工作物をいい、その高さが1.5m以上、長さが図上1.0cm以上のものを表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、周囲の景況により必要と認められるものについては表示することができる。 2. 被覆は、上縁を4号線、他を2号線で描き、上縁の線には直径0.4mmの半円を2.0mm間隔に付す。また、その内部に直径0.3mmの円点を上縁より1.5mm間隔に表示する。この場合、円点は下縁から0.2mm以上離すものとする。この表示を被覆（大）という。ただし、幅が図上0.6mm以上1.0mmまでのものは、円点を表示しない。 3. 前項で、図上0.4mm未満のものは、被覆（小）の記号で表示する。			
								射影部（上端線）低い方を右に取得  内部りん形点は自動発生して表示する	12										
								射影部（下端線）高い方を右に取得 	2										
		11	コンクリート被覆	一般 道路 河川			直ヒ 低い方を右に取得 	11	線	E2	有		3	道路河岸、海岸等の斜面を保護するための堅ろうな工作物のうち、コンクリート製のものをいう。周縁を描き、上縁の線に半円を配し、その内部に円点を表示する。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。					
						射影部（上端線）低い方を右に取得  内部りん形点は自動発生して表示	12												
						射影部（下端線）高い方を右に取得 													
12	ブロック被覆	一般 道路 河川			直ヒ 低い方を右に取得 	11	線	E2	有		3	斜面又は側面を保護するためのブロック製の被覆をいう。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。周縁を描き、上縁の線に四角を配し、その内部に円点を表示する。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。							
				射影部（上端線）低い方を右に取得  内部りん形点は自動発生して表示	12														
				射影部（下端線）高い方を右に取得 															

土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
土地利用等	61			13 石積被覆	一般道路河川					直ヒ 低い方を右に取得 							3	○	斜面又は側面を保護するための石積みの被覆をいう。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。
				21 法面保護（網）	一般道路河川					射影部（上端線）低い方を右に取得 内部りん形点は自動発生して表示 射影部（下端線）高い方を右に取得 	11	線	E2	有					
				22 法面保護（モルタル）	一般道路河川					真形 外周を取得（始終点座標一致） 内部りん形点は自動発生して表示		面	E1			3			盛土又は切土部の法面を網で覆っているものをいう。
				23 法面保護（コンクリート柵）	一般道路河川					真形 外周を取得（始終点座標一致） 内部りん形点は自動発生して表示		面	E1			3			コンクリート柵で法面を覆っているものをいう。

土地利用等

大分類	分 類 類	分 類 コ ー ド		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 デ ー 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図 形 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向	属 性 数 値				
土 地 利 用 等	61		30	さく（未分類）	一般 道路 河川				中心を取得						3	建物及び敷地の周辺を区画するための生け垣、鉄さく等の工作物をいう。			
				かき		一般				線	E2			4	1. かきとは、建物及び敷地の周辺を区画するためのトタンべい、生がき、鉄さく等の工作物をいい、高さがおおむね1.5m以上、長さが図上おおむね1.0cm以上のものを表示する。 2. 前号において、建物が密集し表示することが困難な場合には、省略することができる。				
		31	落下防止さく	一般 道路 河川				中心を取得		線	E2			3	さくの構造、材質に関わらず落石を遮ることを目的に設置されたものをいう。				
		32	防護さく	一般 道路 河川				ガードレール 道路を左に見て中心を取得	26			有	3	防護さくをいう。（ガードレール、ガードパイプ）					
								両端の被開部は自動発生して表示する ガードパイプ 中心を取得	27	線	E2								
		33	遮光さく	一般 道路 河川				中心を取得		線	E2			3	光を遮ることを目的として設置されたさくをいう。				
34	鉄 さ く	一般 道路 河川				中心を取得		線	E2			3	金属製のさくをいう。						

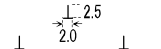
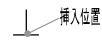
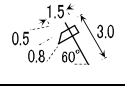
土地利用等

大分類	分 類	分 類 コ ー ド		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考	
		レイ ヤ	項 デ ー タ 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区 分	デー タ	レ コ ー ド	方 向					属 性 数 値
土 地 利 用 等	61			36	生 垣	一般 道路 河川				中心を取得 		線	E2			3	生垣、竹垣等をいう。		
				37	土 囲	一般 道路 河川				中心を取得 		線	E2			3	盛土による構囲をいう。		
				40	へい（未分類）	一般 道路 河川				内側を右にみて中心を取得 		線	E2	有		4	建物及び敷地の周辺を区画するための囲壁をいう。		
					へい	一般				内側を右にみて中心を取得 							1. へいとは、建物及び敷地の周辺を区画するためのついで及び石、コンクリート等で作られた堅ろうな工作物をいい、高さがおおむね2.0m以上、長さが図上おおむね4.0cm以上のものを表示する。 2. へいのうち、高さがおおむね2.0m未満、長さが図上おおむね4.0cm未満のものはかき（図式分類コード61-30）の記号により表示する。		
				41	堅ろうへい	一般 道路 河川				内側を右にみて中心を取得 	46	線	E2	有		6	石、コンクリート、れんが、ブロック等により作られた堅ろうな囲壁をいう。		
										中心を取得 両側に敷地がある場合 									
				42	簡易へい	一般 道路 河川				内側を右にみて中心を取得 	46	線	E2	有		3	板、トタン等で作られた囲壁をいう。		
										中心を取得 両側に敷地がある場合 									

土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
土地利用等	62		01	区域界	一般道路 河川					界線を取得 _____		線	E2			3	区域界は、場等地のうち特に他の地区と区別する必要のある場合で、その区域が地物縁で表示できない場合に適用する。		
						一般道路 河川										2			
							一般												
			11	空地	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 (空) 挿入位置		点	E5			3	特に定められた記号のない場地在、建物密集地の必要な部分に表示する。		
			12	駐車場	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 (駐) 挿入位置		点	E5			3	車両の駐車のための場地在一般に利用可能なもの、月極駐車場等のおおむね図上2.0cm平方以上のものをいう。立体駐車場は建物に記号を表示する。		
							一般			記号表示位置を点情報で取得 (P) 挿入位置						4	1. 駐車場は、一般車が利用可能なもの及び月極駐車場等で、おおむね図上4.0mm×4.0mm以上のものを表示する。 2. 駐車場は、その区域を地物縁等で表示できない場合は、区域界（図式分類コード62-01）の記号により外周を表示し、その内部に駐車場の記号を表示する。 3. 立体駐車場で大規模なものは、建物の内部に記号を表示する。また、タワー状で駐車場の記号が建物の記号の内部に入らない場合は指示点を付し記号を表示する。 4. 公共施設、工場及び店舗等の敷地内にある駐車場は表示しない。		
			13	花壇	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 (花) 挿入位置		点	E5			3	公園、広場等で鑑賞のために花を植えてある場所をいう。		

土地利用等

大分類	中分類	分類コード		名称	地図情報レベル				図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	項目データ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
土地利用等		62	14	園庭	一般 道路 河川					点	E5			3	庭園、公園、宅地、道路の分離帯、工場等の周辺にある鑑賞あるいは隠ぺいのため栽培する灌木の集合しているところをいう。				
						一般	園庭とは、庭園、公園、宅地、道路の分離帯及び工場等の周辺にある観賞あるいは隠ぺいのため栽培する灌木の集合しているものをいい、記号を意匠的に配置して表示する。ただし、園庭の記号で表示することが不適当な居住地等の周辺の樹木は、広葉樹林（図式分類コード63-31）、針葉樹林（図式分類コード63-32）等の記号を適宜適用する。												
			15	墓地	一般 道路 河川					点	E5			3	墓の集合しているところをいう。				
						一般	1. 墓地は、その区域を地物線で表示できない場合は、植生界（図式分類コード63-01）の記号により外周を表示し、その内部に墓碑（図式分類コード42-01）の記号を表示する。 2. 図上おおむね3.0cm×3.0cm以上のものについては、墓碑（図式分類コード42-01）の記号を定間隔に配列して表示する。ただし、区域の形状によって定間隔に記号を表示することが困難な場合は、適宜記号の間隔をせばめて表示することができる。												
16	材料置場	一般 道路 河川					点	E5			3	木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面で、おおむね図上2.0cm平方以上のものをいう。工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。注記を併記する。							
			一般	1. 材料置場とは、木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面をいい、おおむね図上2.0cm×2.0cm以上のものについて表示する。 2. 工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。															

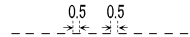
土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線号	適 用	端点一致	備 考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
土地利用等	62	21	噴火口・噴気口	一般道路河川					 挿入位置	記号表示位置を点情報で取得		点	E5		3	現に噴火・噴気しているものをいう。		
					一般道路河川													
							一般		 挿入位置									
		22	温泉・鉱泉	一般道路河川					 挿入位置	記号表示位置を点情報で取得		点	E5		3	温泉法に基づく温泉又は鉱泉の泉源をいう。注記を併記する。		
					一般道路河川													
							一般		1. 温泉・鉱泉とは、温泉法に基づく温泉及び鉱泉をいい、主要なものを表示する。 2. 温泉及び鉱泉の記号は、泉源の位置に表示するのを原則とする。ただし、泉源と浴場が離れている場合には、浴場の位置にも表示することができる。									

土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
土地利用等	62		23	陵 墓	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	天皇又は皇族の墓が独立あるいは数個存在するもので著名なものは注記を併記する。		
						一般道路 河川													
			24	古 墳	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	古代の支配階級を葬ってある盛土された墓で有名なものは注記を併記する。		
			25	城・城跡	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	古城あるいはその形跡が現存しているもので著名なものは注記を併記する。		
						一般道路 河川													
			26	史跡・名勝・天然記念物	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			3	文化財保護法で指定されているものをいう。		
			31	採 石 場	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			4	土木建築用等の石材を採取する場所で、現在採掘中のものをいう。		
			32	土 取 場	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			4	土木建築用等の土を採取する場所で、現在採掘中のものをいう。		
			33	採 鉱 地	一般道路 河川					記号表示位置を点情報で取得 		点	E5			4	鉱石を採掘する場所で、現在採掘中のものをいう。		

土地利用等

大分類	分 類	分 類 コ ー ド		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 デ ー 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区 分	デー タ	レ コ ー ド	方 向	属 性 数 値				
土 地 利 用 等	植	63	01	植 生 界	一般 道路 河川					中心を取得		線	E2		3	異なった植生の区分に適用する。未耕地間の植生界は原則として表示しない。			
							一般								2	1. 植生界は、異なった植生の区分に適用する。ただし、未耕地間の植生界は原則として表示しない。 2. 植生界が区域界（図式分離コード62-01）と合する場合は、区域界を優先して表示する。			
			02	耕 地 界	一般 道路 河川					中心を取得		線	E2		3	同一種類の耕地の境で、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものをいう。			
							一般								2	耕地界とは、同一種類の耕地の境界をいい、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものを表示するのを原則とす。ただし、この基準に満たないものであっても図上必要と認められるものについては表示することができる。			
			11	田	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得			点	E5		2	湿田、乾田及び沼田とし、季節により畑作物を栽培する田をいう。		
							一般										田は、水稻、蓮、い草、わさび、せり等を栽培している土地に適用し、季節により畑作物を栽培する土地を含む。		
12	は す 田	(一般) (道路) (河川)					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得			点	E5		2	はすを栽培する土地をいう。「製品仕様書」による。					
13	畑	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得			点	E5		2	麦、陸稲、野菜、芝等を栽培している土地をいう。					
				一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得		畑は、麦、陸稲、野菜、芝、牧草等を栽培している土地に適用する。										

土地利用等

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 デ ー 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図 形 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向	属 性 数 値				
土 地 植 生 利 用 等	63	14	さとうきび畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5				2	さとうきびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。				
					一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	さとうきび畑は、さとうきびを栽培している土地に適用する。											
		15	パイナップル畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5				2	パイナップルを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。				
					一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	パイナップル畑は、パイナップルを栽培している土地に適用する。											
		16	わさび畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5				2	わさびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。				
		17	桑畑	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5				2	桑畑は、桑を栽培している土地に適用する。				
					一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 												
		18	茶畑	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 	点	E5				2	茶畑は、茶を栽培している土地に適用する。				
					一般														

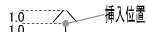
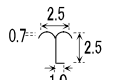
土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
土地利用等	土地植生	63	19	果 樹 園	一般道路河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5		2	果樹園は、果樹を栽培している土地に適用する。		
						一般				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 								
			21	その他の樹木畑	一般道路河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5		2	その他の樹木畑は、桐、はげ、こうぞ、庭木等を栽培している土地及び苗木畑に適用する。		
						一般												
			22	牧 草 地	一般道路河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5		2	牧草を栽培している土地をいう。		
			23	芝 地	一般道路河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5		2	芝地は、芝を植えて管理している庭園、ゴルフ場及び運動場等に適用する。		
						一般				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 								
			31	広葉樹林	一般道路河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5		2	樹高2.0m以上の広葉樹が密生している土地をいう。		
						一般										広葉樹林は、樹高2.0m以上の広葉樹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		

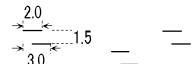
土地利用等

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 デ ー タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区 分	デー タ	レ コ ー ド	方 向				
土 地 植 利 用 等	63	植 生	32	針葉樹林	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	樹高2.0m以上の針葉樹が密生している土地をいう。			
					一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	針葉樹林は、樹高2.0m以上の針葉樹が密生している地域に 適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。									
			33	竹 林	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	樹高2.0m以上の竹が密生している土地をいう。			
					一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	竹林は、樹高2.0m以上の竹が密生している地域に適用す る。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。									
			34	荒 地	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	裸地、雑草地等の地域に適用する。			
					一般													
			35	はい松地	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	はい松地は、はい松又はわい性松の密生している地域に適 用する。			
					一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 										

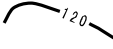
土地利用等

大分類	分 類 類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	項 デ ー タ 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区 分	デー タ	レ コ ー ド	方 向				
土 地 利 用 等		63	36	しの地（笹地）	一般 道路 河川				記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	しの地は、しの又は笹の密生している地域に適用する。			
						一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 										
			37	やし科樹林	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	やし科樹林は、やし科、へご科、たこのき科等の植物が密生している地域に適用する。				
						一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 										
		38	湿 地	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 	点	E5			2	1. 湿地は、常時水を含み、土地が軟弱で湿地性の植物が生育している土地に適用する。 2. 湿地の範囲は、植生界（図式分類コード63-01）の記号を適用して表示する。					
					一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で 取得 											

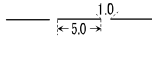
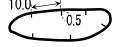
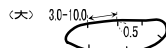
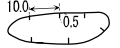
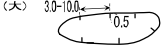
土地利用等

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線号	適 用	端点一致	備 考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
土地植生利用等	63	40	砂れき地（未分類）	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	1. 砂れき地は、砂又はれきで覆われている土地に適用する。 2. 砂れき地は、その範囲を植生界（図式分類コード 63-01）の記号を適用して表示し、中央部に砂れき地の記号を表示する。		
			砂れき地			一般												
		41	砂 地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	砂で覆われている土地をいう。		
		42	れ き 地	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	れきで覆われている土地をいう。		
		45	干 潟	一般 道路 河川					記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 		点	E5			2	低潮位において海面上に表れる砂泥地をいう。		

地形等

大分類	分	類	分類コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ						線号	適 用	端点一致	備 考					
			レイヤ	項目		500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値									
地形等高線等	71		01	等高線（計曲線）	一般 道路 河川					等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2		有	4	0mの主曲線及びこれより起算して5本目ごとの主曲線をいう。地図情報レベル1000以下は5mごと、2500では10mごと、5000では25mごとの等高線を表示する。	○	等深線を含む。							
										120 2.0（地図情報レベル500） 120 1.5（地図情報レベル1000）									注記	E7		4			
					一般					等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2		有	4										
										120 1.5									注記	E7		4			
				02	等高線（主曲線）	一般 道路 河川						等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2					有	2	平均海面から起算して1mごとの等高線をいう。	○	等深線を含む。		
												17 2.0（地図情報レベル500） 17 1.5（地図情報レベル1000）												注記	E7
					一般							等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2					有	2				地図情報レベル2500では平均海面から起算して2mごと、5000では5mごとの等高線を表示する。	○
												82 1.5													
			03	等高線（補助曲線）	一般 道路 河川					等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2		有	2	補助曲線は、緩傾斜地又は複雑な地形を示す地域等で主曲線だけでは地形を適切に表現できない部分について、主曲線の1/2の間隔に表示する。	○	等深線を含む。							
										6.5 2.0（地図情報レベル500） 6.5 1.5（地図情報レベル1000）									注記	E7		4			
				一般						等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2		有	2										
										15 1.5									注記	E7		4			

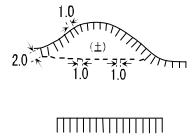
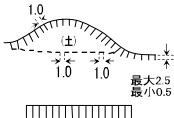
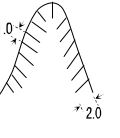
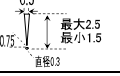
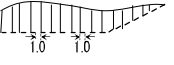
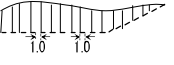
地形等

大分類	分	分類コード	項目	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端点一致	備 考	
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
地形等高線等	71		04	等高線（特殊補助曲線）	一般 道路 河川				等高線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2		有	2	主曲線の1/4の間隔の等高線で、補助曲線で適切な地形表現ができない部分について適用する。	○	等深線を含む。		
									11.5 2.0（地図情報レベル500） 11.5 1.5（地図情報レベル1000）									注記	E7
			05	凹地（計曲線）	一般 道路 河川				高い方を左にみるように等高線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2	有	有	4	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、0mの主曲線及びこれより起算して5本目ごとの主曲線をいう。	○	等深線を含む。		
									120 2.0（地図情報レベル500） 120 1.5（地図情報レベル1000）									注記	E7
					一般				高い方を左にみるように等高線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2	有	有	4	1. 凹地は、人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、凹地を示す等高線の長径が図上5.0mm以上のものは、凹地（大）を、それ未満のものは凹地（小）を適用する。 2. 凹地（大）は、等高線の内側に長さ0.5mmの短線をおおむね3.0mm間隔に付して表示する。ただし、凹地を示す等高線が長大な場合は、短線の間隔をおおむね10.0mmまで適宜広げることができる。	○			
									120 1.5									注記	E7
			06	凹地（主曲線）	一般 道路 河川				高い方を左にみるように等高線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、1mごとの等高線をいう。	○	等深線を含む。		
									10 2.0（地図情報レベル500） 10 1.5（地図情報レベル1000）									注記	E7
					一般				高い方を左にみるように等高線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） _____	線	E2	有	有	2	凹地（計曲線）（図式分類コード71-05）の適用を参照。	○			
									10 1.5									注記	E7

地形等

大分類	分	コード	レイ	項目	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考	
						500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	デー	レコ	方					属
地形等高線等	71	07	凹地（補助曲線）	一般 道路 河川			高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 		線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/2間隔の等高線をいう。	○	等深線を含む。				
							6.5 2.0（地図情報レベル500） 6.5 1.5（地図情報レベル1000）		注記	E7			4							
							一般				高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	線	E2				有	有	2	凹地（計曲線）（図式分類コード71-05）の適用を参照。
				1.5 1.5	注記	E7						4								
				08	凹地（特殊補助曲線）	一般 道路 河川			高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	線	E2	有	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/4間隔の等高線をいう。		○	等深線を含む。		
		4.25 2.0（地図情報レベル500） 4.25 1.5（地図情報レベル1000）	注記						E7			4								
		99	凹地（矢印）		一般			2点目 1点目 終点側に矢を自動発生して表示する	線	E2	有		2	凹地（小）は、凹地を示す等高線と直行する長さ2.0mm～4.0mmの矢印を、高い方から最低部の方向に向けて表示する。						

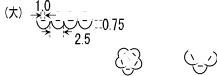
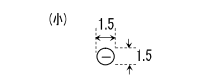
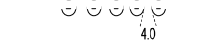
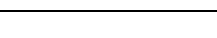
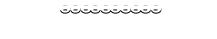
地形等

大分類	中分類	細分類	分類コード	項目コード	項目名	地図情報レベル				図式	データタイプ					線号	適用	備考		
						名称	500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値
地形	72	等	01		土がけ(崩土)	一般道路河川						上端線 低い方を右に取得  補助記号は自動発生して表示 下端線 高い方を右に取得  図郭に対して平行垂直入力 (土) 挿入位置	11	線	E2	有	2	土砂の崩壊等によって自然にできたがけ状の急斜面をいう。頂部を示す線と射影部を示す短線を頂部から最大傾斜方向へ2.0mmまで表示し、それ以上の射影部は下端を破線で表示する。	○	
						一般						上端線 低い方を右に取得  補助記号は自動発生して表示する 下端線 高い方を右に取得  図郭に対して平行垂直入力 (土) 挿入位置	11	線	E2	有				2
						一般道路河川						上端線  補助記号は自動発生して表示 下端線 	11	線	E2	有	2	表土が雨水によって流出した裂溝の状態をいい、土がけの記号で表示する。	○	
						一般						1点目 上端中央 2点目 下端(方角点) 輪郭形状(三角形、円)は自動発生して表示	11	線	E2	有				2
						一般道路河川						上端線 低い方を右に取得  下端線 高い方を右に取得  補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有	2	台地又はたい土等の周辺の傾斜が急で、等高線で表現するのが困難又は景況が明らかにならない地形をいい、土がけの記号で表示する。	○	
						一般						上端線 低い方を右に取得  下端線 高い方を右に取得  補助記号は自動発生して表示	11	線	E2	有				2

地形等

大分 類	分 類	分 類 コ ー ド	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適用	端 点 一 致	備 考	
				500	1000	2500	5000		取得方法	図 形 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向					属 性 数 値
地形等	72	06	洞 口	一般 道路 河川				記号表示位置の点と向きを示す方向を取得 	方向	E6	有		2	自然に形成された石灰洞、溶岩洞、トンネル等をいう。洞の向きに合わせて表示する。				
					一般		記号表示位置の点と向きを示す方向を取得 	4						洞口とは、自然に形成された穴をいい、著名なものは、その入口に正射影の方向に一致させて記号を表示する。ただし、鉛直方向のものは、図郭下辺に記号を直立させて表示する。				
			11	岩 が け	一般 道路 河川			上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示 下端線 高い方を右に取得 	11	線	E2	有		2	岩石地ががけ状になっている状態をいう。頂部を山型に、傾斜を示す短線を頂部から最大傾斜方向に表示する。	○		
								図郭に対して平行垂直入力 										点
				一般			上端線 低い方を右に取得 補助記号は自動発生して表示する 下端線 高い方を右に取得 	11	線	E2	有		2	1. 岩がけとは、岩でできた急斜面をいい、急斜面の正射影を表示する。 2. 岩がけの表示は、頂部を山型に表示し、傾斜を示す短線は頂部を示す線から最大傾斜方向に、壁面を示す短線は傾斜を示す短線と直角に表示する。傾斜を示す短線は、最大図上2.5mmを表示し射影部の下端を破線で表示する。 3. 前項において、正射影の幅が図上1.0cm以上の場合には、適宜の位置に（岩）の記号を添えて表示する。	○			
								図郭に対して平行垂直入力 										点
		12	露 岩	一般 道路 河川			高度の高い方を右にみる形で界線を取得 	線	E2	有		2	一部を地表に露出する岩石をいい、河岸及び海岸等で露出している岩石を含む。					
					一般		高度の高い方を右にみる形で界線を取得 											

地形等

大分類	中分類	コード	項目	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ					線号	用途	備考		
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値	
地形等	72	13	散岩	一般 道路 河川			(大) 	高度の高い方を右にみる形で界線を取得	線	E2	有	2	地表に散在する岩石をいい、岩礁を含む。						
							(小) 	極小 記号表示位置の点を取得 							点	E5			
							一般	(大) 									高度の高い方を右にみる形で界線を取得	線	E2
								(小) 							極小 記号表示位置の点を取得 	方向	E6		
				14	さんご礁	一般 道路 河川				高度の高い方を右にみる形で界線を取得	線	E2	有	2	空中写真上で判読できる程度のものについてその外縁を表示する。				
									一般							高度の高い方を右にみる形で界線を取得	線		E2
																高度の高い方を右にみる形で界線を取得			
																高度の高い方を右にみる形で界線を取得	線		E2

地形等

大分 分類	地 形 等	73	分類 コード		名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考	
			レイ ヤ	項 目 タ		500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区分	デー タ	レコ ード	方 向					属 性 数 値
			01	三 角 点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) 	点	E5		有	4	基本測量により設置された三角点をいう。壁石の亡失したものについては表示しない。		点名称も含む (但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字)		
										注記	E7									
					一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) 	点	E5		有			三角点とは、基本測量により設置された三角点をい い、すべて表示する。ただし、壁石の亡失したもの の高架部下のものについては表示しない。		点名称も含む (但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字)		
										注記	E7									
			02	水 準 点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) 	点	E5		有	4	基本測量により設置された水準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。		点名称も含む (但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字)		
										注記	E7									
					一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) 	点	E5		有			水準点とは、基本測量により設置された水準点をい い、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの のトンネル内、高架部下のものについては表示しない。		点名称も含む (但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字)		
										注記	E7									
			03	多角点等	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) 	点	E5		有	4	基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいう。標石の亡失したものについては表示しない。		点名称も含む (但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字)		
										注記	E7									
					一般				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) 	点	E5		有			多角点及び標石を有する図根点等とは、基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。		点名称も含む (但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字)		
										注記	E7									

地形等

大分類	分 類 コード	レイ ヤ	項 目 タ	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	端 点 一 致	備 考	
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区分	デー タ	レ コ ード	方 向					属 性 数 値
地 形 等	73	04	公共基準点（三角点）	一般 道路 河川				基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	4	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。					
								25.6	注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）				
				一般			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	公共基準点（三角点）とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいい、すべて表示す。ただし、磐石の亡失したもの、高架部下のものについては表示しない。							
							25.6	注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）					
			公共基準点（水準点）	一般 道路 河川			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	4	公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。						
							25.62	注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）					
				一般			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有		公共基準点（水準点）とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点をいい、すべて表示す。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。						
							25.62	注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）					
		06	公共基準点（多角点等）	一般 道路 河川			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	4	公共測量によって設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。						
							25.62	注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）					
		07	その他の基準点	一般 道路 河川			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	2	工事等の遂行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。						
							25.62	注記	E7					点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）					

地形等

大分類	分	コ	ード	名	称	地図情報レベル				図	式	デ					タ	イ	ブ	続	号	適	用	端	点	一	数	備	考		
						500	1000	2500	5000			取得方法	図形区分	データ	レコード	方														向	属性数値
地形等	地	基	73	08	電子基準点	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm） 	点	E5		有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。		点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）															
								25.62	注記	E7																					
						一般		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位 はmm） 	点	E5		有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。		点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）															
								25.62	注記	E7																					
					09	公共電子基準点	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm） 	点	E5		有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。 標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。		点名称も含む（但し、点名称は 全角文字、数値は半角文字）														
									25.62	注記	E7																				
						11	標石を有しない標高点	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	4	公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準 点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面 位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に 応じて表示する。簡易水準点の標高は小数点以下2位、 その他は小数点以下1位とする。															
										25.62	注記	E7																			
				一般			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） 	点	E5		有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4 級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準 測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で 測定した点をいい、必要に応じて表示する。																		
							25.6	注記	E7																						

地形等

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名称	地図情報レベル				図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
					500	1000	2500	5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
地形等	基準点	73	12	図化機測定による標高点	一般 道路 河川		一般	○ 25.6 $0.3\frac{1}{1000}$	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） ●——挿入位置		点	E5		有	4	図化機測定による標高点は必要に応じて表示する。			
							25.6●——挿入位置		注記	E7									
	数値地形モデル		01	グリッドデータ				グリッド間隔は、地図情報レベル相当の図面上で、2cmを標準とする。 グリッド +		グリッド	G				数値地形モデル法によるグリッド上のデータで、グリッド点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下1位までとする。				
			11	ランダムポイント				標高値は属性数値（単位：mm） ●——挿入位置		点	E5		有		数値地形モデル法のグリッドデータを補完するための標高点であり、ランダム点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下1位までとする。標高値が小数点以下2位又は3位までである場合は、必要に応じて表示する。				
			21	ブレイクライン				変形地、人工物等による地形の不連続部等の主な場所について、線状に標高測定を行う。 ——		線	E2				数値地形モデル法におけるグリッドデータを補完するために取得するもので、形状を実線で表示する。				
		75	31	不整三角網（TIN）						地表面の三角形（TIN）三点を取得		不整三角網	T			地表面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレイクライン、等高線等から生成する。			
										表層面の三角形（TIN）三点を取得	51					表層面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレイクライン、等高線等から生成する。			
										水表面の三角形（TIN）三点を取得	52					陸域のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレイクライン、等高線等から生成する。			
-	-	81	99	指 示 点	一般 道路 河川		一般	0.3○	●——挿入位置		点	E5			4	建物記号、注記を表示する場合に、その対象物の内部に表示ができず対象とするものが特定できない場合に表示する。			

注記

大 分 類	分類コード		分 類	表示対象	字 大				字隔	データ タイプ		注記法の区分					全角・ 半角	備 考 (記載例)	
	レイ ヤ	項 目 タ ラ			500	1000	2500	5000		デ ー タ	レ コ ー ド	小対 象物	地域 (Ⅰ)	地域 (Ⅱ)	線状				
注 記	22	55	交通施設	距離標(Km)	2.0				1/4	注記	E7	○					半角		
		56		距離標(m)	2.0				1/4	注記	E7	○					半角		
	34	04	水部	プール	2.0				1/4	注記	E7		○				全角		
	52	13	水部に 関する 構造物等	護岸杭(消波ブロック)	2.0				1/4	注記	E7					○	全角		
		14		護岸 捨石	2.0				1	注記	E7					○	全角		
		22		船揚場	2.0				1/4	注記	E7					○	全角		
		35		根固	2.0				1/4	注記	E7					○	全角		
		36		床固 陸部	2.0				1	注記	E7					○	全角		
		37		床固 水面下	2.0				1	注記	E7					○	全角		
		38		シャカゴ	2.0				1/4	注記	E7					○	全角		
	71	01	等高線 数値	等高線(計曲線)	2.0	1.5				1/4	注記	E7					○	半角	
		02		等高線(主曲線)	2.0	1.5				1/4	注記	E7					○	半角	
		03		等高線(補助曲線)	2.0	1.5				1/4	注記	E7					○	半角	
		04		等高線(特殊補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7					○	半角		
		05		凹地(計曲線)	2.0	1.5				1/4	注記	E7					○	半角	
		06		凹地(主曲線)	2.0	1.5				1/4	注記	E7					○	半角	
		07		凹地(補助曲線)	2.0	1.5				1/4	注記	E7					○	半角	
		08		凹地(特殊補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7						○	半角	
	73	01	基準点等	三角点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	点名称を入れる場合は全角文字とする
		02		水準点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		03		多角点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		04		公共基準点(三角点)	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		05		公共基準点(水準点)	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		06		公共基準点(多角点)	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		07		その他基準点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		08		電子基準点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		09		公共電子基準点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		11		標石を有しない標高点	2.0				1/4	注記	E7	○						半角	
		12		図化標高点	2.0	1.5				1/4	注記	E7	○						半角

注記

大分類	分類コード	分	表示対象	字 大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)
				500	1000	2500	5000		デ ー タ	レ コ ード	小対 象物	地域 (Ⅰ)	地域 (Ⅱ)	線状		
注記	81	行政 区 画	10 市・東京都の区	6.0	5.0			1/2～7	注記	E7		○			全角	
			11 町・村・指定都市の区	5.0	4.5			1/2～7	注記	E7		○			全角	
			12 市町村の飛地	3.5	3.0			1/4～7	注記	E7	○	○	○		全角	
		居住 地 名	13 大区域	4.5	4.0			1/4～5	注記	E7		○	○		全角	大字の上に公称としてあるもの
			14 大字・町・丁目	4.5	3.5			1/4～3	注記	E7		○	○		全角	町・丁目は大字に対応するもの
			15 小字・丁目	3.5	3.0			1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	丁目は小字に対応するもの
			16 通り	3.5	3.0			1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	
			17 その他の地名(大)	5.0	3.5			1/4～3	注記	E7		○	○		全角	通称及び俗称等に用いる
			18 その他の地名(中)	4.0	3.0			1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	
			19 その他の地名(小)	3.0				1/4～3	注記	E7		○	○	○	全角	
		交通 施 設	21 道路の路線名	3.5	3.0			1/2～5	注記	E7				○	全角	
			22 道路施設、坂、峠、インターチェンジ等	3.0	2.5			1/4～1	注記	E7	○	○	○	○	全角	
			23 鉄道の路線名	3.5	3.0			1/2～5	注記	E7				○	全角	
			24 鉄道施設 駅、操車場、信号所	3.0	2.5			1/4～3	注記	E7	○	○	○	○	全角	
			25 橋	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○			○	全角	
			26 トンネル	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○			○	全角	
		建 物	31 建物の名称	3.0	2.5			1/4～3	注記	E7	○	○	○		全角	
			34 建物の付属物	3.0	2.5			1/4	注記	E7	○				全角	
		小 物 体	40 マンホール	2.0				1/4	注記	E7	○				全角	
			41 電 柱	2.0				1/4	注記	E7	○				全角	
			42 その他の小物体	3.0	2.5			1/4	注記	E7	○				全角	輸送管は線状対象物の注記法
	水 部	水	51 河川、内湾、港	4.0	3.0	3.5		1/4～5	注記	E7	○	○	○	○	全角	
			一条河川			2.5		1/4～5	注記	E7	○	○		○	全角	
			湖 池			3.0		1/4～5	注記	E7					全角	
			岬、崎、鼻、岩礁	3.0	2.5			1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角	
						2.5		1/4～1								
			河岸、河原、洲、浜、磯	3.5	3.0			1/4～5	注記	E7	○	○		○	全角	
			山、島	3.5	3.0			1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角	
		52	水部施設、ダム	3.0	2.5			1/4～1	注記	E7	○	○	○	○	全角	羽村堰 岩淵水門
			せき、水門、渡船発着所			2.5		1/4～1								
			堤防			2.5		1/4～5								
	53		地下水部	4.0	3.0			1/4～5	注記	E7				○	全角	

注記

大 分 類	分 類 コ ー ド	分 類	表示対象	字 大				字隔	データ タイプ		注記法の区分					全角・ 半角	備 考 (記載例)
				500	1000	2500	5000		デ ー タ	レ コ ー ド	小対 象物	地域 (Ⅰ)	地域 (Ⅱ)	線状			
注 記	81	土地 利用 等	61	法面、構囲	2.5	2.0		1/4～3	注記	E7	○	○	○		全角		
			62	諸地、場地 公園、牧場、飛行場 運動場、ゴルフ場等	3.5	2.5		1/4～5							全角		
				公園、運動場、牧場、飛行場、ゴルフ 場、材料置場、温泉、探鉱地、採 石地、城跡、史跡名勝、天然記念物 等			2.5	1/4～5	注記	E7	○	○	○	○	全角		
			63	植生	3.0	2.5		1/4～1	注記	E7	○	○	○		全角	森林、原野、果樹園	
							2.5										
			71	山	3.5	3.0		1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角		
							3.0	1/4～3									
				尖峰、丘、塚	3.0	2.5		1/4～5	注記	E7	○	○	○		全角		
							2.5	1/4～1									
				谷、沢	3.0	2.5		1/2～3	注記	E7	○	○		○	全角		
							2.5										
			81	説明注記 (本文中に規定されているものを除く)	2.5		2.0		1/4～2	注記	E7	○	○	○	○	全角	(建設中) (宅地造成中) (油) (整理中)
				助字	親字の60%												
				ふり仮名	1.5												

注1 字隔は、対象物の大小、字数の多少及び資格等を考慮して表の範囲で選択する。ただし、小対象物の注記法による場合の字隔は、すべて1/4とする。

2 対象物の面積及び長さにより規定の字大の適用が困難な場合、又は不適切な場合は、字大を0.5mm小さくすることができる。

3 本表に記載されていないものは、表中の類似物の注記規定による。

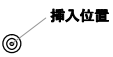
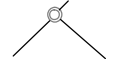
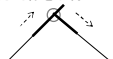
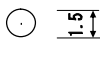
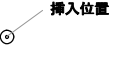
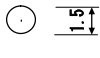
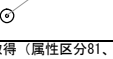
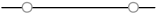
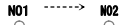
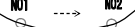
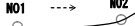
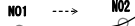
4 各字大における文字の線の太さは、次の線号を標準とする。

字 大	2.0mm	2.5～3.0mm	3.5～4.0mm	4.5～5.0mm
線の太さ	0.15mm	0.20mm	0.25mm	0.35mm

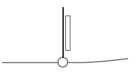
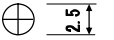
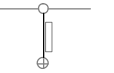
三角点、水準点、多角点、現地測定による標高点及び図化機により測定した標高点、等高線数値の線の太さは、0.20mmとする。

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 応用測量

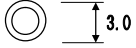
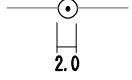
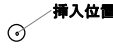
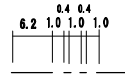
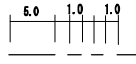
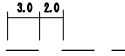
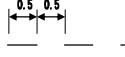
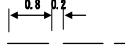
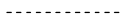
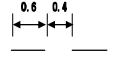
線形図

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適 用	連続又は終点一致	備 考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
交通施設	25			01	IP (IP杭)		記号表示位置の点を取得 		点	E5		3	中心線測量のIP点をいう。		
				02	IP方向線		IP点間の方向線を取得 		線	E2		3	IP点間に引いた方向線をいう。		
				03	主要点 (役杭)		記号表示位置の点を取得 		点	E5		3	中心線測量のBC, EC等の主要点をいう。		
							中心点の要素を取得 (属性区分81、属性データの書式A55)		属性	E8	有		中心点の要素をいう。路線属性区分 (必須) ・路線番号 (選択) ・測点名 (必須) ・単距離 (必須) ・追加距離 (必須) で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2, I5, 4X, A24, I8, I12"とする。単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。		
				04	中心点 (中心杭)		記号表示位置の点を取得 		点	E5		3	中心線測量のBC, EC等の主要点をいう。		
							中心点の要素を取得 (属性区分81、属性データの書式A55)		属性	E8	有		中心点の要素をいう。路線属性区分 (必須) ・路線番号 (選択) ・測点名 (必須) ・単距離 (必須) ・追加距離 (必須) で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2, I5, 4X, A24, I8, I12"とする。単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。		
				05	中心線	直線 	直線区間を始点から終点方向に取得 	61	線	E2	有	3	中心線の直線区間をいう。		
						円弧 	円弧区間を始点から終点方向に取得 	62	円弧	E4	有	3	中心線の円弧区間をいう。		
						クロソイド 	クロソイド区間を始点から終点方向に取得 	63	線	E2	有	3	中心線のクロソイド区間をいう。		形状に沿って連続した座標列で出力する。
						その他の緩和曲線 	その他の緩和区間を始点から終点方向に取得 	64	線	E2	有	3	中心線のその他の緩和区間をいう。		

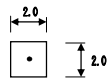
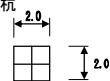
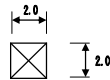
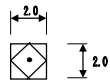
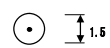
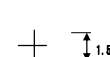
線形図

大分類	分類コード	項目データ	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ						線号	通 用	連続又は終点一致	備 考
					取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
線形図 交通施設	25	05		属性	中心線の要素を取得（属性区分02、属性データの書式A84）		属性	E8		有		中心線の要素をいう。路線属性区分（必須）・路線番号（選択）・IP番号（選択）・開始測点名（選択）・緩和曲線開始距離（必須）・終了測点名（選択）・緩和曲線終了距離（必須）・半径又はパラメータ（必須）・左右区分（必須）で構成され、属性は省略可能である。 書式は、“A2, I5, I4, A24, I8, A24, I8, I1”とする。 開始点測点名は、路線中心線の各スパンにおける始点側測点名を記述する。 緩和曲線開始距離は、中心線の形状がクロノイドの場合、クロノイドの基準になる位置（直線側端点）から路線の進行方向上の始点側測点位置までの距離をmm単位で記述する（直線部は0）。開始側クロノイドは開始距離よりも終了距離の方が大きくなり、終了側クロノイドはその逆となる。 終了点測点名は、路線中心線の各スパンにおける終点側測点名を記述する。 緩和曲線終了距離は、中心線の形状がクロノイドの場合、クロノイドの基準になる位置（直線側端点）から路線の進行方向上の終点側測点位置までの距離をmm単位で記述する（直線部は0）。 半径又はパラメータは、中心線の形状が円弧、またはクロノイドの場合、半径、またはパラメータAをmm単位で記述する。 左右区分は、線形の形状で、直線なら0、路線の進行方向に向かって右カーブなら1、左カーブなら2を記述する。		
		06	その他の路線結線		中心線以外の線を取得		線	E2			3	中心線以外の路線結線をいう。		
		07	役杭引出線		中心線の進行方向に対して役杭より直角に取得		線	E2			3	役杭において中心線に直角に要素を表示するために引かれた線をいう。		
		11	多角点（記号）		記号表示位置の点を取得		点	E5			3			
		12	引照（線）		多角点と中心線杭間を取得		線	E2			3			

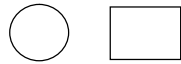
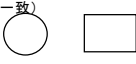
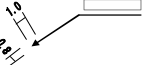
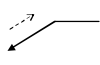
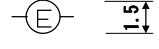
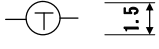
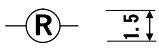
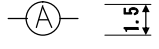
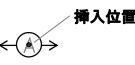
用地

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適用	連続又は終点一致	備 考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値			
土地利用等	65			01 中心杭		記号表示位置の点を取得 		点	E5			4	中心線の測点（役杭を含む）をいう。	
				02 用地杭		記号表示位置の点を取得 		点	E5			4	用地杭（幅杭点を含む）をいう。	
				11 起業地の境界				線	E2			3	用地取得境界線（幅杭線を含む）をいう。	
				12 用地取得予定線				線	E2			3	用地取得境界線をいう。	公図等転写図に使用する。
				13 大字の境界				線	E2			7	大字の境界線をいう。	大字名の注記は、8114 を使用する。
				14 字の境界				線	E2			7	字の境界線をいう。	字名の注記は、8115 を使用する。
				15 土地の境界				線	E2			3	土地の境界線を言う。	
				16 一筆地内の異なる地目の境界				線	E2			2	地番内で地目が異なる境界線をいう。	
				17 一筆地内の異なる権利の境界				線	E2			2	地番内で権利の異なる境界線をいう。	
				18 一筆地内の異なる占有者の境界				線	E2			3	地番内で占有者がある場合の境界線をいう。	

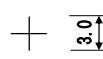
用地

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ					線 号	適 用	連続又は終点一致	備 考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値			
土地利用等	65		19	同一所有者記号		隣り合った土地の所有者が同じ場合に共有する線上に円弧を取得		円弧	E4			2	隣り合った土地の所有者が同じで片方の所有者名を省略する場合に記号を入れる。	
			21	境界標	石杭 	記号表示位置の点を取得	71	点	E5			3	境界点に石杭が埋設してあるものをいう。	
					コンクリート杭 	記号表示位置の点を取得	72	点	E5			3	境界点にコンクリート杭が埋設してあるものをいう。	
					合成樹脂杭 	記号表示位置の点を取得	73	点	E5			3	境界点に合成樹脂杭が埋設してあるものをいう。	
					不銹鋼杭 	記号表示位置の点を取得	74	点	E5			3	境界点に不銹鋼杭が埋設してあるものをいう。	
					その他 	記号表示位置の点を取得	75	点	E5			3	境界点に鉄等が打設してあるものをいう。	
					境界計算点 	記号表示位置の点を取得	76	点	E5			3	延長上の交点等で求めた点をいう。	
			22	公共施設の境界線（道路区域界）		道路の区域線を取得		線	E2			3	道路の区域界とは、道路法第2条第1項に規定された道路にあっては道路法施行規則第4条の2第4項第1号の道路の区域の境界線、道路法第2条第1項に規定する以外の道路にあってはこれに準ずる境界線をいう。	
			23	公共施設の境界線（河川区域界）		河川の区域線を取得		線	E2			3	河川の区域界とは、河川法第6条第1項の河川区域又は同法第100条第1項の規定により指定された河川について準用される同法第6条第1項の区域及びその他の公共の用に供する水路である河川の境界線をいう。	

用地

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名称	図式	データタイプ						線号	適用	連続又は終点一致	備考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
土地利用等	65		41	拡大参照枠		拡大して詳細を表示する外周を取得（始終点座標一致） 		面線円	E1 E2 E3			3	部分的に拡大詳細図を作成する場合の範囲をいう。	○	
			42	引き出し線		引き出し線を取得 		線	E2			3	寸法等で表示場所が制約される場合に別な場所に引き出す線をいう。		
			51	配電線路		電柱の中心位置と架線の間隔を取得 		方向	E6	有		3	電力柱をいう。		
			52	送電線路		外枠は支持物の敷地を取得し、内枠は支持物の基礎を取得（始終点座標一致） 		面線	E1 E2			3	送電線の鉄塔をいう。	○	
			53	通信線路		電柱の中心位置と架線の間隔を取得 		方向	E6	有		3	電話柱をいう。		
			54	鉄道・軌道		電柱の中心位置と架線の間隔を取得 		方向	E6	有		3	鉄道の電柱をいう。		
			55	その他の路線		電柱の中心位置と架線の間隔を取得 		方向	E6	有		3	その他の電柱をいう。		

整飾

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適用	連続又は終点一致	備 考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
地形整飾等	79		01	図枠（外枠）		図枠外側の線を取得（始終点座標一致） 		面線	E1 E2			3	図枠の外側に引かれた線をいう。	○	
			02	図枠（内枠）		図枠内側の線を取得（始終点座標一致） 		面線	E1 E2			6	図枠の内側に引かれた線をいう。	○	
			03	タイトル（外枠）		タイトルの外枠線を取得（始終点座標一致） 		面線	E1 E2			4	図面の右下に書かれたタイトルの外枠線をいう。	○	
			04	タイトル（罫線）		タイトル内の罫線を取得 		線	E2			3	図面の右下に書かれたタイトル内の罫線をいう。		
			05	凡例（外枠）		凡例の外枠線を取得（始終点座標一致） 		面線	E1 E2			4	図面内の要素を示す凡例の外枠線をいう。	○	
			06	凡例（罫線）		凡例内の罫線を取得 		線	E2			3	図面内の要素を示す凡例内の罫線をいう。		
			07	作表（外枠）		作表の外枠線を取得（始終点座標一致） 		面線	E1 E2			4	作表の外枠線をいう。	○	
			08	作表（罫線）		作表内の罫線を取得 		線	E2			3	作表内の罫線をいう。		
			11	方眼線		座標の方眼線を取得 		線	E2			3	図面内に表示された基準座標を示す方眼線をいう。		
			12	方眼点		記号表示位置の点と方向を取得 		線	E1			3	図面内に表示された基準座標を示す方眼点をいう。		

整飾

大分類	分類コード	レイヤ	項目データ	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	適用	連続又は終点一致	備 考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
地形等	整飾	79	13	方位		方位の図柄線を取得 		線円	E2 E3			3	平面図等の座標の北を示す方位をいい、図柄データで表示する。		
			14	方眼紙 (5cm)		方眼紙の5cm間隔の線を取得 		線	E2			3	方眼紙をあらわす線をいう。		
			15	方眼紙 (1cm)		方眼紙の1cm間隔の線を取得 		線	E2			2	方眼紙をあらわす線をいう。		
			16	方眼紙 (1mm)		方眼紙の1mm間隔の線を取得 		線	E2			1	方眼紙をあらわす線をいう。		

注記

大 分 類	分類コード		分 類	表示対象	字 大		字隔	データ タイプ		注記法の区分				全角・ 半角	備 考 (記載例)
	レイ ヤ	項 目			500	1000		デ ー タ	レ コ ー ド	小対 象物	地域 (Ⅰ)	地域 (Ⅱ)	線状		
注 記	82	01	整 飾	図面タイトル	7.0		1/4～3	注記	E7	○				全角・半角	
		02		図面縮尺	5.0		1/4～3	注記	E7	○				全角・半角	
		03		地区名	5.0		1/4～3	注記	E7	○				全角・半角	
		04		計画機関名	5.0		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		05		作業機関名	5.0		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		06		作成年月日	5.0		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		07		タイトル（文字）	4.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		08		凡例（文字）	4.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		09		作表（文字）	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		11		方眼座標値	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		12		方位	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	25	01	線 形 図	I P（I P 杭）	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		03		主要点（役杭）	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		04		中心点（中心杭）	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		07		役杭引出要素	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		11		多角点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	65	12	杭 打 図	引照	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		01		中心杭番号	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		02		用地杭名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	82	21	用 地	境界点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		61		点間の距離	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		62		地番	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		63		地目	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角	
		64		所有者等の氏名	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	
		65		不動産番号	2.5		1/4～1	注記	E7	○				半角	
		66		座標系	2.5		1/4～1	注記	E7	○				全角・半角	

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 測量記録

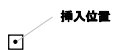
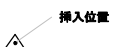
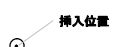
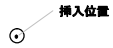
基準点網図

大分類	中分類	小分類	コード	項目	名称	図式	データタイプ						線号	適用	連続又は終点一致	備考
							取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
地形基準点網図	76			01	与点記号		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	基準点測量を行う場合に使用する与点をいう。		
				02	新点記号		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	新しく設置する新点（基準点）をいう。		
				03	節点記号		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	点間に視通が無い場合に定められた範囲内で設ける点をいう。		
				04	偏心点・方位点		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	与点等で点間の視通が無い場合に設ける偏心点をいう。		
				05	点間結線		点間の線を取得 		線	E2			3	点間の視通を表す結線をいう。		
				06	与点後視方向線		与点での方向線を与点から方向点方向に取得 		線	E2	有		3	与点で後視方向のみ取り付けられる場合の方向線をいう。		
				07	観測方向（矢印）		観測図で観測の方向を点間結線上に点の位置と方向を取得 		方向	E6	有		3	点間結線上に観測方向を表現した記号をいう。		
				08	観測方向（線）		観測方向を始点から終点に向かって取得 内角の場合は時計周りに取得 		線 円弧	E2 E4	有		3	観測路線方向を表現した方向線をいう。		
				09	セッション		セッションを取得（始終点座標一致） 		面 線	E1 E2			3	G P S で観測する場合のセッションをいう。	○	
				11	与点記号（電子基準点）		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	基準点測量を行う場合に使用する与点（電子基準点）をいう。		
				15	点間結線（偏心与点間）		点間の線を取得 		線	E2			3	偏心与点間の視通を表す結線をいう。		

水準路線図

大分類	分類コード	レイヤ	項目	名称	図式	データタイプ						線号	適用	連続又は終点一致	備考
						取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
地形路線等図	77		01	与点記号		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	水準測量を行う場合に使用する与点をいう。		
			02	新点記号		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	新しく設置する新点（水準点・BM・交点）をいう。		
			03	固定点記号		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3	観測路線中にある固定点をいう。		
			04	水準路線		水準路線を取得 		線	E2			3	水準路線をいい、路線単位で取得する。		
			05	観測路線方向線		観測路線の方向を始点から終点方向に取得 		線	E2			3	水準路線の観測方向を表現した方向線をいう。		

空中写真資料

大分 分類	分 類	78	空中写真資料等	分類コード	項目 レイヤ 目次	名 称	図 式	デ ー タ タ イ プ						線 号	通 用	連続又は終点一致	備 考
								取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
					01	標定点		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3		標定点配置図	
					02	対空標識		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3		対空標識一覧図	
					03	刺針点		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3		刺針点一覧図	
					04	主点		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3		空中三角測量実施一覧図	
					05	タイポイント		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3		空中三角測量実施一覧図	
					06	連結		標定点から撮影コースへの連結を取得 		線	E2			3		空中三角測量実施一覧図	
					11	撮影コース		撮影コースを取得 		線	E2			3		空中写真標定図	
						属性	撮影コースの要素を取得（属性区分71、属性データの書式A52）		属性	E8			撮影コースの要素をいう。コース番号、使用カメラ名、カメラ番号（シリアル番号）、画面距離（m）、撮影高度（m）、撮影縮尺（分母）、撮影年月（YYMM）、始点写真番号、終点写真番号を、“A4, 2A10, 17, 14, 15, 3A4”の書式で記述する。				
					12	撮影主点		記号表示位置の点を取得 		点	E5			3		空中写真標定図	
					13	写真枠		写真の枠を取得（始終点座標一致） 		面	E1			3		○ 空中写真標定図	
					14	撮影区域		撮影区域を取得 		線	E2			3		空中写真標定図	
					21	作成範囲		作業範囲を取得 		面	E1			4			

注記

大 分 類	分類コード		分 類	表示対象	字 大		字隔	データ タイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)
	レイヤ	項目			500	1000		データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)	線状		
注 記	82	21	基準点 網図	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		22		電算番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
		23		セッション名	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
	82	31	水準	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		32		観測路線番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角	
	78	01	空中写真 資料	標定点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		02		対空標識名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		03		刺針点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角	
		04		主点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		05		タイポイント名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
	82	11		コース番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		41		写真番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		42		使用カメラ	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		43		画面距離	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	
		44		撮影高度	2.0		1/4	注記	E7	○				半角	

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類コード表

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目	コード	項目	コード	項目
未分類 00	未分類	11 XX	境界・所属界	24 XX	鉄道施設	35 50	変電所
行政界		11 00	未分類	24 00	未分類	35 52	浄水場
10	未分類	11 01	都府県界	24 01	鉄道橋(高架部)	35 53	揚水機場
11	境界・所属界	11 02	北海道の支庁界			35 56	揚・排水機場
		11 03	都市・東京都の区界	24 11	跨線橋	35 57	排水機場
		11 04	町村・指定都市の区界	24 12	地下通路	35 59	公衆便所
		11 06	大字・町・丁目界	24 19	鉄道のトンネル		
		11 07	小字界			35 60	ガソリンスタンド
交通施設				24 21	停留所		
20	未分類			24 24	プラットホーム	41 XX	公共施設
21	道路	11 10	所属界	24 25	プラットホーム上屋	41 00	未分類
22	道路施設	11 11	行政区の代表点	24 26	モノレール橋脚	41 01	マンホール(未分類)
23	鉄道			24 28	鉄道の雪覆い等		
24	鉄道施設	21 XX	道路			41 11	マンホール(共同溝)
25	線形図・杭打ち図	21 00	未分類	25 XX	線形図・杭打ち図	41 19	有線柱
		21 01	道路線(街区線)	25 01	IP(IP杭)		
建物		21 02	軽車道	25 02	IP方向線	41 21	マンホール(ガス)
30	建物	21 03	徒歩道	25 03	主要点(役杭)		
34	建物の付属物	21 06	庭園路等	25 04	中心点(中心杭)	41 31	マンホール(電話)
35	建物記号	21 07	トンネル内の道路	25 05	中心線	41 32	電話柱
		21 09	建設中の道路	25 06	その他の路線結線		
小物体				25 07	役杭引出線	41 41	マンホール(電気)
40	未分類	22 XX	道路施設			41 42	電力柱
41	公共施設	22 00	未分類	25 11	多角点(記号)		
42	その他の小物体	22 03	道路橋(高架部)	25 12	引照(線)	41 51	マンホール(下水)
		22 04	木橋				
水部等		22 05	徒橋	30 XX	建物	41 61	マンホール(水道)
50	未分類	22 06	棧道橋	30 00	分類しない建物		
51	水涯線			30 01	普通建物	42 XX	その他の小物体
52	水部に関する構造物	22 11	横断歩道橋	30 02	堅ろう建物	42 00	未分類
		22 12	地下横断歩道	30 03	普通無壁舎	42 01	墓碑
土地利用等		22 13	歩道	30 04	堅ろう無壁舎	42 02	記念碑
60	未分類	22 14	石段			42 03	立像
61	法面・構面	22 15	地下街・地下鉄等出入口	34 XX	建物の付属物	42 04	路傍祠
62	諸地・場地	22 19	道路のトンネル	34 00	未分類	42 05	灯ろう
63	植生			34 01	門	42 06	狛犬
65	用地	22 21	バス停	34 02	屋門	42 07	鳥居
		22 22	安全地帯	34 03	たたき		
		22 26	分離帯	34 04	ブール	42 11	官民境界杭
		22 27	駒止				
地形		22 28	道路の雪覆い等	35 XX	建物記号	42 15	消火栓
70	未分類			35 00	未分類	42 16	消火栓 立型
71	等高線	22 31	側溝 U字溝無蓋	35 03	官公署	42 17	地下換気孔
72	変形地	22 32	側溝 U字溝有蓋	35 04	裁判所	42 19	坑口
73	基準点	22 33	側溝 L字溝	35 05	検察庁		
		22 34	側溝地下部	35 07	税務署	42 21	独立樹(広葉樹)
75	数値地形モデル	22 35	雨水樹	35 08	税関	42 22	独立樹(針葉樹)
76	基準点網図	22 36	並木樹	35 09	郵便局	42 23	噴水
77	水準点網図	22 38	並木			42 24	井戸
78	空中写真資料	22 39	植樹	35 10	森林管理署	42 25	油井・ガス井
79	応用測量整飾			35 11	測候所	42 26	貯水槽
		22 41	道路情報板	35 12	工事事務所	42 27	肥料槽
注記		22 42	道路標識 案内	35 13	出張所	42 28	起重機
80	未分類	22 43	道路標識 警戒	35 14	警察署		
81	注記	22 44	道路標識 規制	35 15	文書	42 31	タンク
82	測量記録等	22 46	信号灯	35 16	消防署	42 32	給水塔
		22 47	信号灯 専用ポールのないもの	35 17	職業安定所(ハローワーク)	42 33	火の見
				35 18	土木事務所	42 34	煙突
		22 51	交通量観測所	35 19	役場支所及び出張所	42 35	高塔
		22 52	スノーボール			42 36	電波塔
		22 53	カーブミラー	35 21	神社	42 37	照明灯
		22 55	距離標(km)	35 22	寺院	42 38	防犯灯
		22 56	距離標(m)	35 23	キリスト教会		
				35 24	学校	42 41	灯台
		22 61	電話ボックス	35 25	幼稚園・保育園	42 42	航空灯台
		22 62	郵便ポスト	35 26	公会堂・公民館	42 43	灯標
		22 63	火災報知器	35 27	博物館	42 45	ヘリポート
		23 XX	鉄道	35 28	図書館		
		23 00	未分類	35 29	美術館		
		23 01	普通鉄道			42 51	水位観測所
				35 31	保健所	42 52	流量観測所
		23 02	地下鉄地上部	35 32	病院	42 53	雨量観測所
		23 03	路面電車	35 34	銀行	42 54	水質観測所
		23 04	モノレール	35 36	協同組合	42 55	波浪観測所
		23 05	特殊鉄道	35 39	デパート	42 56	風向・風速観測所
		23 06	索道				
		23 09	建設中の鉄道	35 45	倉庫	42 61	輸送管(地上)
				35 46	火薬庫	42 62	輸送管(空間)
		23 11	トンネル内の鉄道・普通鉄道	35 48	工場	42 65	送電線
		23 12	地下鉄地下部	35 49	発電所		
		23 13	トンネル内の鉄道・路面電車				
		23 14	トンネル内の鉄道・モノレール				
		23 15	トンネル内の鉄道・特殊鉄道				

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目	コード	項目	コード	項目
51 XX	水部	62 21	噴火口・噴気口	71 08	凹地(特殊補助曲線)	79 05	凡例(外枠)
51 00	未分類	62 22	温泉・鉱泉			79 06	凡例(畚線)
51 01	河川・水がい線	62 23	陵墓	71 99	凹地(矢印)	79 07	作表(外枠)
51 02	細流・一条河川	62 24	古墳			79 08	作表(畚線)
51 03	かれ川	62 25	城・城跡	72 XX	変形地		
51 04	用水路	62 26	史跡・名勝・天然記念物	72 00	未分類	79 11	方眼線
51 05	湖池			72 01	土がけ(崩土)	79 12	方眼点
51 06	海岸線	62 31	採石場	72 02	雨裂	79 13	方位
51 07	水路 地下部	62 32	土取場	72 03	急斜面	79 14	方眼紙(5cm)
		62 33	採鉱地	72 06	洞口	79 15	方眼紙(1cm)
51 11	低位水がい線(干潟線)			72 10	未分類 岩	79 16	方眼紙(1mm)
52 XX	水部に関する構造物等	63 XX	植生	72 11	岩がけ		
52 00	未分類	63 00	未分類	72 12	露岩		
52 02	栈橋(鉄、コンクリート)	63 01	植生界	72 13	散岩		
52 03	栈橋(木製・浮栈橋)	63 02	耕地界	72 14	さんご礁		
52 04	栈橋(浮き)	63 03	仮耕地界				
52 11	防波堤	63 11	田	73 XX	基準点		
52 12	護岸 被覆	63 12	はす田	73 00	未分類		
52 13	護岸 杭(消波ブロック)	63 13	畑	73 01	三角点		
52 14	護岸 捨石	63 14	さとうきび畑	73 02	水準点		
52 19	坑口 トンネル	63 15	ハイナッブル畑	73 03	多角点等		
		63 16	わさび畑	73 04	公共基準点(三角点)		
52 21	渡船発着所	63 17	桑畑	73 05	公共基準点(水準点)		
52 22	船揚場	63 18	茶畑	73 06	公共基準点(多角点等)		
52 26	滝	63 19	果樹園	73 07	その他の基準点		
52 27	せき	63 21	その他の樹木畑	73 08	電子基準点		
52 28	水門	63 22	牧草地	73 09	公共電子基準点		
		63 23	芝地	73 11	標石を有しない標高点		
52 31	不透過水制			73 12	固化機測定による標高点		
52 32	透過水制	63 31	広葉樹林				
52 33	水制水面下	63 32	針葉樹林	75 XX	数値地形モデル		
52 35	根固	63 33	竹林	75 00	未分類		
52 36	床固 陸部	63 34	荒地	75 01	グリッドデータ		
52 37	床固 水面下	63 35	はい松地	75 11	ランダムポイント		
52 38	蛇籠	63 36	しの地(笹地)	75 21	ブレイクライン		
52 39	敷石斜坡	63 37	やし科樹林	75 31	不整三角網(TIN)		
		63 38	湿地				
52 41	流水方向			76 XX	基準点網図		
52 55	距離標	63 40	砂れき地(未分類)	76 01	与点記号		
52 56	量水標	63 41	砂地	76 02	新点記号		
		63 42	れき地	76 03	節点記号		
		63 45	干潟	76 04	偏心点・方位点		
61 XX	法面・構面			76 05	点間結線		
61 00	未分類	65 XX	用地	76 06	与点後視方向線		
61 01	人工斜面	65 01	中心杭	76 07	観測方向(矢印)		
61 02	土堤	65 02	用地杭	76 08	観測方向(線)		
61 03	河川堤防の表法肩の法線	65 11	起業地の境界	76 09	セッション		
		65 12	用地取得予定線				
61 10	被覆	65 13	大字の境界	76 11	与点記号(電子基準点)		
61 11	コンクリート被覆	65 14	字の境界				
61 12	ブロック被覆	65 15	土地の境界	76 15	点間結線(偏心与点間)		
61 13	石積被覆	65 16	一筆地内の異なる地目の境界				
		65 17	一筆地内の異なる権利の境界	77 XX	水準路線図		
61 20	未分類 法面保護	65 18	一筆地内の異なる占有者の境界	77 01	与点記号		
61 21	法面保護(網)	65 19	同一所有者記号	77 02	新点記号		
61 22	法面保護(モルタル)			77 03	固定点記号		
61 23	法面保護(コンクリート樹)	65 21	境界標	77 04	水準路線		
		65 22	公共施設の境界線(道路区域界)	77 05	観測路線方向線		
61 30	さく(未分類)・かき	65 23	公共施設の境界線(河川区域界)				
61 31	落下防止さく						
61 32	防護さく			78 XX	空中写真資料		
61 33	遮光さく			78 01	標定点		
61 34	鉄さく			78 02	対空標識		
61 36	生垣	65 41	拡大参照枠	78 03	刺針点		
61 37	土囲	65 42	引き出し線	78 04	主点		
				78 05	タイポイント		
61 40	へい(未分類)	65 51	配電線路	78 06	連結		
61 41	堅ろうへい	65 52	送電線路				
61 42	簡易へい	65 53	通信線路	78 11	撮影コース		
		65 54	鉄道・軌道	78 12	撮影主点		
62 XX	諸地・場地			78 13	写真枠		
62 00	未分類			78 14	撮影区域		
62 01	区域界	65 55	その他の路線				
				78 21	作成範囲		
62 11	空地	71 XX	等高線				
62 12	駐車場	71 00	未分類	79 XX	応用測量整飾		
62 13	花壇	71 01	等高線(計曲線)	79 01	図枠(外枠)		
62 14	園庭	71 02	等高線(主曲線)	79 02	図枠(内枠)		
62 15	墓地	71 03	等高線(補助曲線)	79 03	タイトル(外枠)		
62 16	材料置場	71 04	等高線(特殊補助曲線)	79 04	タイトル(畚線)		
		71 05	凹地(計曲線)				
		71 06	凹地(主曲線)				
		71 07	凹地(補助曲線)				

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目
81 XX	注記	25 11	多角点名称
81 00	未分類	25 12	引照
81 10	市・東京都の区	34 XX	建物の付属物
81 11	町・村・指定都市の区	34 04	プール
81 12	市町村の飛地		
81 13	大区域	52 XX	水部に関する構造物等
81 14	大字・町・丁目	52 13	護岸杭(消波ブロック)
81 15	小字・丁目	52 14	護岸 捨石
81 16	通り		
81 17	その他の地名(大)	52 22	船揚場
81 18	その他の地名(中)		
81 19	その他の地名(小)	52 35	根固
81 21	道路の路線名	52 36	床固 陸部
81 22	道路施設、坂、峠、インターチェンジ	52 37	床固 水面下
81 23	鉄道の路線名	52 38	ジャカゴ
81 24	鉄道施設、駅、操車場、信号所		
81 25	橋	65 XX	用地測量
81 26	トンネル	65 01	中心杭番号
81 31	建物の名称	65 02	用地杭名称
81 34	建物の付属物	65 21	境界点名称
81 40	マンホール		
81 41	電柱	71 XX	等高線
81 42	その他の小物体	71 01	等高線(計曲線)
81 51	水部	71 02	等高線(主曲線)
81 52	水部施設	71 03	等高線(補助曲線)
81 53	地下水部	71 04	等高線(特殊補助曲線)
81 61	法面、構面	71 05	凹地(計曲線)
81 62	踏地、場地	71 06	凹地(主曲線)
81 63	植生	71 07	凹地(補助曲線)
81 71	山地	71 08	凹地(特殊補助曲線)
81 73	標高注記		
81 81	説明注記	73 XX	基準点
81 99	指 示 点	73 01	三角点
		73 02	水準点
82 XX	測量記録等	73 03	多角点
82 0X	応用測量整飾	73 04	公共基準点(三角点)
82 01	図面タイトル	73 05	公共基準点(水準点)
82 02	図面縮尺	73 06	公共基準点(多角点)
82 03	地区名	73 07	その他基準点
82 04	計画機関名	73 08	電子基準点
82 05	作業機関名	73 09	公共電子基準点
82 06	作成年月日		
82 07	タイトル(文字)	73 11	標石を有しない標高点
82 08	凡例(文字)	73 12	図化標高点
82 09	作表(文字)		
82 11	方眼座標値		
82 12	方位		
82 2X	基準点網図		
82 21	測点名称		
82 22	電算番号		
82 23	セッション名		
82 3X	簡易水準測量		助字
82 31	測点名称		ふり仮名
82 32	観測路線番号		
82 4X	空中写真資料		
82 41	写真番号		
82 42	使用カメラ		
82 43	画面距離		
82 44	撮影高度		
82 6X	用地測量		
82 61	点間の距離		
82 62	地番		
82 63	地目		
82 64	所有者等の氏名		
82 65	不動産番号		
82 66	座標系		
22 XX	道路施設		
22 55	距離標(Km)		
22 56	距離標(m)		
25 XX	線形		
25 01	IP(IP杭)		
25 03	主要点(役杭)		
25 04	中心点(中心杭)		
25 07	役杭引出要素		

公共測量標準図式 数値地形図データファイル仕様

数値地形図データファイル仕様

ファイル仕様の記述

A.....文字型(入力値がない場合は半角スペース。ただし、年月では"0000")

I.....整数型(入力値がない場合は、“0”)

X.....空白(半角スペース)

(1) インデックスレコード (a)

レコードタイプ	座標系	計画機関名	図郭数	図郭識別番号レコード数	使用分類コード数	間断処理フラグ	使用した作業規程		バージョン	空き領域区分	空き領域	
							西暦年号	作業規程名				
A2	I2	A30	I3	I2	I4	I1	I1	I4	A30	I1	I1	3X

レコードタイプ.....「I△」に固定(△はスペースを示す。以下同じ。)

座標系 平面直角座標系の系番号

計画機関名……………数値地形図データの作成・更新を計画した機関名

図郭数 ……………地域内に含まれる情報区画数

図郭識別番号レコード数・図郭識別番号レコード数

使用分類コード数……………当該データで使用している分類コード数(対応テーブルのレコード数)

使用分類コード数.....当該データで使用している分類コード数(対応テーブルの
 転位処理フラグ.....当該データファイルで、転位区分を設定しているか否か

0 : 転位処理を設定していない

1 : 転位処理を設定している

間断処理フラグ.....当該データファイルで、間断区分を設定しているか否か

0 : 間断処理を設定していない

1 : 間断処理を設定している

使用した作業規程.....当該データファイルのフォーマットが定められた作業規程の名称

西暦年号……………作業規程が施行された西暦年 例. 2008

例. 国土交通省公共測量作業規程

バージョン.....データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1

空き領域区分.....空き領域をユーザーが利用した場合の区分

0:利用していない。

n:利用している ($1 \leq n \leq 9$)。nの値はユーザーで管理する番号

数値地形図データファイル仕様

(1) インデックスレコード (b)

図郭識別番号 (1)	図郭識別番号 (2)	図郭識別番号 (3)	図郭識別番号 (4)	図郭識別番号 (5)	図郭識別番号 (6)	図郭識別番号 (7)	図郭識別番号 (8)	図郭識別番号 (9)	図郭識別番号 (10)	空き領域
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	4X
10	20	30	40	50	60	70	80			

図郭識別番号・・・・・・地域内に含まれる全図郭番号(英数字、図郭識別番号レコード数分繰り返し)

(1) インデックスレコード (c)

使用分類コード		標準の分類コード		使用データタイプフラグ								方向規定区分	座標次元区分	内容記述
				面	線	円	点	方	注	属	グ			
レイヤ	項目	レイヤ	項目											
I4		I4		9	I1						I1	I1	A65	
10		20		30		40		50		60		70		80

使用分類コード・・・・・・当該データファイルで使用している分類コード
標準の分類コード・・・・・・使用している取得分類コードに対応する標準の取得分類コード(数値地形図データ取得分類基準表)
レイヤ・・・・・・取得分類基準の分類コード上位2桁
項目・・・・・・取得分類基準の分類コード下位2桁
使用データタイプフラグ・・・・・・当該取得分類で各データタイプを使用しているか否かを示すフラグ
0 : 使用していない
1 : 使用している

方向規定区分・・・・・・当該取得区分の座標列の方向性をどのように規定しているかを示すフラグ
0 : 方向性は本規定に準拠
1 : 別途定めて使用している
座標次元区分・・・・・・当該座標取得分類の座標値の次元を示すフラグ
0 : 特に定めない(二次元と三次元が混在)
2 : 二次元(X, Y)
3 : 三次元(X, Y, Z)
内容記述・・・・・・標準の分類コードと異なる分類コードを使用した場合は、その仕様等の概要を記述

※(b)(c)は各々、(a)の図郭識別番号レコード数及び取得分類数だけ繰り返しされる。

数値地形図データファイル仕様

(2)図郭レコード(a)

レコードタイプ	図郭識別番号	図郭名称	地図情報レベル	タイトル名	修正回数	バージョン	空き領域区分	空き領域
A2	A8	A20	I5	A30	I2	I1	I1	15X
	10	20	30	40	50	60	70	80

レコードタイプ.....「M△」に固定
 図郭識別番号.....当該図郭の番号(英数字)
 図郭名称.....当該図郭の図郭名称
 地図情報レベル.....作業規程の準則第4編第1章第80条に従う。
 タイトル名.....当該図郭のタイトル名(例:“〇〇市都市計画基本図”)
 修正回数.....図郭の修正作業を行った回数、新規作成時は修正回数0(ゼロ)
 バージョン.....データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1
 空き領域区分.....空き領域をユーザーが利用した場合の区分
 0:利用していない。
 n:利用している(1≦n≦9)。nの値はユーザーで管理する番号

(2)図郭レコード(b)

図郭座標(1)				空き領域	要素数	レコード数	座標値の単位	図郭座標(2)				空き領域	
左下図郭座標		右上図郭座標						左上図郭座標		右下図郭座標			
X(m)	Y(m)	X(m)	Y(m)					X(m)	Y(m)	X(m)	Y(m)		
17	17	17	17	13	16	17	13	17	17	17	17	9X	
10	10	20	20	30	30	40	40	50	50	60	60	70	80

図郭座標(1).....当該図郭の左下隅及び右上隅の、X、Y座標で、単位はメートル
 要素数.....当該図郭に含まれる全要素数
 レコード数.....当該図郭ファイルの図郭レコードを除く全レコード数
 座標値の単位.....座標データの単位を記述する。
 地図情報レベル500及び1000では「 1」.....使用している座標値が「mm」単位であることを示す
 地図情報レベル2500及び5000では「 10」.....使用している座標値が「cm」単位であることを示す
 地図情報レベル 10000では「999」.....使用している座標値が「m」単位であることを示す
 図郭座標(2).....当該図郭の左上隅及び右下隅の、X、Y座標で、単位はメートル

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(c)

隣接図郭識別番号								空き領域
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	20X
10	20	30	40	50	60	70	80	

隣接図郭識別番号・当該図郭の周りの図郭番号(英数字)で、左上から右回り(全部で8枚)、存在しない図郭はスペース

1	2	3
8		4
7	6	5

(2) 図郭レコード(d)

作成年月	現地調査年月	撮影コース数	レコード数	入力機器名	公共測量承認届番号	測地成果識別コード	図郭識別コード	変換手法識別コード	空き領域
A4	A4	11	11	A30	A30	11	11	11	11X

作成年月……………位置データを作成した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)

現地調査年月……………現地調査を行った年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)

撮影コース数……………当該図郭に關係する写真のコース数。航空レーザ測量の場合は、計測地区数と読み替える。

レコード数……………撮影コースレコード(f)の数。レコード数(f)に記載項目がない場合は0。

入力機器名……………位置データを入力した機器名

公共測量承認番号・・・承認番号

測地成果識別コード・・・日本測地系で作成 : 0

世界測地系で作成

日本測地系から世界

図郭識別コード.....図郭が切り直された場合

それ以外 : 0

変換手法識別コード・・・図郭代表点を座標変換

図郭四隅を座標変

全座標データを座標変換

上記以外の座標変換

それ以外

※日本測地系とは、測量法(昭和24年)に定められた測量の基準、世界測地系とは、測量法(平成14年4月1日施行)に定められた測量の基準

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(e)

作業機関名	図郭座標の端数								空き領域
	左下図郭座標		右上図郭座標		左上図郭座標		右下図郭座標		
	X (cm , mm)	Y (cm , mm)	X (cm , mm)	Y (cm , mm)	X (cm , mm)	Y (cm , mm)	X (cm , mm)	Y (cm , mm)	
A40	14	14	14	14	14	14	14	14	12X
10									80

作業機関名……………数値地図作成作業を実施した機関名
図郭座標の端数で、メートル未満の端数数値を記述する。
左下図郭座標……………左下図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
右上図郭座標……………右上図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
左上図郭座標……………左上図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
右下図郭座標……………右下図郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
地図情報レベル500及び1000では「mm」単位、地図情報レベル2500以上では「cm」単位

(2) 図郭レコード(f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域
コース 番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース 番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース 番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	
A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	18X
10																		80

撮影コース番号……………当該図郭に関する写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。
撮影年月……………当該図郭に関する写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。
写真縮尺……………当該図郭に関する写真の縮尺の分母数。航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。
写真枚数……………当該図郭に関する写真の当該コース番号についての枚数
写真番号……………当該図郭に関する写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は
(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f) ……………
新規 修正1回目 修正2回目
のように、修正が行われる度に追加される。
※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合は複数レコードを連続する。

数値地形図データファイル仕様

(3) グループヘッダレコード(レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコード タイプ	地図分類コード				要素 識別 番号	階 層 レ ベル	要素数											取得 年月	更新 の 取得 年月	消 去 年 月	数 値 化 区 分	空 き 領 域				
	分類 コード		地域 分類	情報 分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性	グリッド・ T I N									
	レイ ヤ	項目																								
A2	14		12	14	14	12	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	11	A4	A4	A4	12	X			
			10			20			30			40			50			60			70			80		

レコードタイプ……………「H△」に固定

地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード

分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード

地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)

情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)

要素識別番号……………個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッダレコードでは0)

階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)

要素数……………1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数

取得年月……………当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)

更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は“0000”)

消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は“0000”)

数値化区分……………当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

数値地形図データファイル仕様

(4) 要素レコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	図形区分	実データ区分	精度区分	注記区分	転位区分	間断区分	データ数	レコード数	代表点の座標値		属性数値	属性区分	属性データの書式	取得年月	更新の取得年月	消去年月	空き領域	要素識別番号反復回数
	分類コード	地域分類	情報分類	X											Y									
																レイヤ								
A2	I4	I2	I4	I4	I2	I2	I1	I2	I1	I2	I1	I4	I4	I7	I7	I7 or 7X	I2	A7	A4	A4	A4	6X	I1	
<																								

レコードタイプ.....データタイプによって区分される

地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード

分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード

地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)

情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)

要素識別番号.....(3)グループヘッダレコードを参照

階層レベル.....当該レコードの階層上の位置

図形区分.....図面出力上必要な区分レコード

実データ区分.....直後に来る実データレコ

精度区分・・・・・・・・・・要素ごとのデータの精度

注記区分.....漢字か英数字かの区分

転位区分.....転位処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分

0: 転位されない。

n: データの方向に対して右側に転位する。(1 ≤ n ≤ 9)

-n : データの方向に対して左側に転位する。(1 ≤ n ≤ 9)

取得分類コードに応じて優先順位の高い方ものから1, 2, .., n

間断区分.....間断処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分

取得分類コードに応じて優先順位の高いものから1, 2, …, nと記述

データ数.....データタイプによって記述が異なる。

E1~E6 : 座標数 E7 : 文字数 E8 : 属性数

レコード数.....当該要素が持つメタデータレコード数
代表点の座標値.....図形の代表となる点。記号は注記の

代表点の座標値……………図形の代表となる点、記号や注記の指示座標

E7 : 始点座標(構文系では最初の文字の)

図形の代りとなる数値 筆書き線や基準点の標高で mm 単位で記述

属性数値.....図形の代表となる数値、等高線や基準点の標高で、mm単位で記述
属性区分.....利用者が独自に設ける区分で、別途属性区分表にて解説

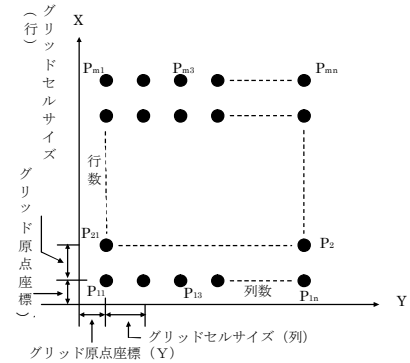
属性データの書式.....属性レコードを持つ場合の、そのレコードに記述されている

取得年月……………当該要素が最初に取得された年月。西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)

更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が修正された年月。西暦の下2桁

消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が存在しなくなったことが確認された年月。西暦の下2桁及び1月で表現（選択項）

要素識別番号反復回数……要素識別番号が4桁を超える場合に用いる。(1~9,999が1、10,000~19,999が2、20,000~29,999が3、……。通常は10,000を超えないために1となる。)

[illegible]

数値地形図データファイル仕様

(5) グリッドヘッダレコード

レコード タイプ	地図分類コード				要素 識別 番号	階 層 レ ベ ル	行 数	列 数	レ コ ー ド 数	グリットセルサイズ		グリット原点座標値		取 得 年 月	更 新 の 取 得 年 月	消 去 年 月	図 形 区 分	精 度 区 分	空 き 領 域	レ コ ー ド 数 反 復 回 数
	分類 コード		地 域 分 類	情 報 分 類						行	列	X	Y							
	レイ ヤ	項 目																		
A2	14		I2	I4	I4	I2	I4	I4	I4	17	17	17	17	A4	A4	A4	I2	I2	9X	11
1020304050607080																				

レコードタイプ……………「GΔ」に固定

地図分類コード……………要素グループヘッダレコードを参照

分類コード、地域分類、情報分類……………要素グループヘッダレコードを参照

要素識別番号……………要素グループヘッダレコードを参照

階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常2または3)

列数……………グリッドデータの横(Y)方向の並びの数

行数……………グリッドデータの縦(X)方向の並びの数

レコード数……………当該グリッドデータの実データレコード数

グリッドセルサイズ……………グリッドデータの格子点間距離

グリッド原点座標値……………グリッドデータの原点

取得年月……………当該グリッドデータを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)

更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は“0000”)

消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は“0000”)

図形区分……………図面出力上必要な区分コード

精度区分……………グリッドごとのデータの精度

レコード数反復回数……………レコード数が4桁を超える場合に用いる。(1～9,999が1、10,000～19,999が2、20,000～29,999が3、……。通常は10,000を超えないために1となる。)

(6) 不整三角網ヘッダレコード

レコード タイプ	地図分類コード				要素識別 番号	階層 レベル	図形 区分	三 角 形 数	レ コ ー ド 数	取 得 年 月	更 新 の 取 得 年 月	消 去 年 月	精 度 区 分	空 き 領 域
	分類 コード		地 域 分 類	情 報 分 類										
	レイ ヤ	項 目												
A2	14		12	14	14	12	12	16	16	A4	A4	A4	12	38X
1020304050607080														

レコードタイプ……………「TΔ」に固定

地図分類コード……………要素グループヘッダレコードを参照

分類コード、地域分類、情報分類……………要素グループヘッダレコードを参照

要素識別番号……………要素グループヘッダレコードを参照

階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常は2又は3)

三角形数……………三角形の数

レコード数……………当該三角形の実データレコード数

取得年月……………当該不整三角網データを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は“0000”)

更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は“0000”)

消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は“0000”)

精度区分……………不整三角網ごとのデータの精度

数値地形図データファイル仕様

(7) 三次元座標レコード

座 標 値			座 標 値			座 標 値			座 標 値		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
10	20		30		40	50		60	70		80

Z値……………座標列の一部に値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(8) 二次元座標レコード

座標値		座標値		座標値		座標値		座標値		座標値	
X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
10	20			30	40	50		60	70		80

座標値……………図郭原点(左下隅)からの測地座標で、要素レコードにあるデータ数と同じ座標数を持つ

線・面……………線上の経過点の座標値

点.....1点の座標値

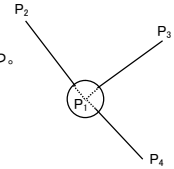
円……………円周上の3点の座標値

円弧……………円弧上の3点の座標値で、円弧の始点、円弧上の任意の点、円弧の終点の順に待つ

方向……………ある点に対する方向を示す場合(例えば電柱)に用いるもので、2つの座標値を組として方向を示す。

最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。

右の例での方向データは、 P_1P_2 、 P_1P_3 、 P_1P_4 の3組となる(2レコードが必要)



※(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合は、複数レコード連続する。

※(8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合は、複数レコード連続する。

数値地形図データファイル仕様

(9) 注記レコード

縦 横 区 分	文 字 列 の 方 向	字 大	字 隔	線 号	注記データ
		(0.1mm)	(0.1mm)		
11	17	15	15	12	A64

縦横区分……………文字列の並びが縦か横かの区分

0 : 横書き : 公 共 測 量
1 : 縦書き : 地 形 図

文字列の方向……………注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は-135° ～-45°、横書きの場合は-45° ～+45° とする。

字大……………字の大きさ 単位は10分の1ミリメートル

字隔……………字の間隔 単位は10分の1ミリメートル。全角・半角が混在する場合には、全角を基準とする。

線号……………字の太さ 線号の号数を記述する

注記データ……………漢字または文字データ(JIS第1及び第2水準) 複数レコードにまたがり、レコードの区切りに全角文字がきた場合には、バイトに分割して格納する。

※ 要素レコードのデータ数が、漢字の場合33以上、英数字の場合65以上の場合は、注記レコードが、複数連続する。

(10) 属性レコード

属性データ (書式は書式データに従う)

属性データ……………ユーザーが利用する属性データ、書式は要素レコードに記述された「属性データの書式」による。

※ 要素レコードのデータ数が2以上の場合、複数レコード連続する。

数値地形図データファイル仕様

(11) グリッドレコード

数値(1) 数値(2) 数値(3) 数値(4) 数値(5) 数値(6) 数値(7) 数値(8) 数値(9) 数値(10) 数値(11) 数値(12)											
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
10	20	30	40	50	60	70	80				

数値……………各格子点の数値、数値地形モデルのグリッドデータを記述する場合は、座標値の単位に従って記述する。

※ 全グリッドポイントを記述するまで連続する、データは原点(左下)から右上へ、連続して記述する。グリットポイントが存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(12) 不整三角網レコード

座 標 値 (i, 1)			座 標 値 (i, 2)			座 標 値 (i, 3)			座 標 値 (i+1, 1)		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17 	17 	17 	17 	17 	17 	17 	17 	17 	17 	17 	
10 20			30 40			50 60			70 80		

座標値……………括弧内に示す順番は、特定の不整三角網レコードの事例である。

三角形は3点の座標値とする。

座標値は不整三角網レコードを満たすよう連続して記録する。

座標値及び三角形の記録する順番は規定しない。

※ (12)において直前の不整三角網レコードの三角形数が2以上の場合は、複数レコード連続する。

※ Z値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

数値地形図データファイル仕様

実データ区分	
コード	内 容
0	実データなし(地形表面の高さを計測したもの)
1	実データなし(人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの)
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード(地形表面の高さを計測したもの)
4	注記レコード
5	属性レコード
6	三次元座標レコード(人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの)

注 記 区 分	
コード	内 容
0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

精 度 区 分		
コード	上 位 桁	下 位 桁
	数 値 化 区 分	地図情報レベル区分
1	基準点測量成果を用いる方法	1～ 50
2	TS等を用いた数値実測	～ 100
3	数値図化法・他の数値地形図データの利用	～ 250
4	既成図数値化(無伸縮図面を使用) *	～ 500
5	既成図数値化(伸縮図面を使用) *	～ 1000
6	航空レーザ測量成果を用いる方法	～ 2500
7		～ 5000
8		～10000
9	その他	その他

図 形 区 分		
コード	内 容	対象となる取得分類項目
0	非 区 分	下記に該当しない全データ
11	射影部の上端	右段等の両端部、崩土、壁岩、滝、
12	射影部の下端	人工斜面、被覆等の射影をもつもの
21	高 欄	道路橋、鉄道橋
22	橋 脚	
23	親柱	
26	ガードレール	道路施設
27	ガードパイプ	
31	中 庭 線	建物
32	棟 割 線	
33	階 層 線	
34	外 付 階 段	
35	ポーチ・ひさし	
46	面側敷地のへい	構 囲
47	輸送管(空間)	小物体
51	表層面	数値地形モデル
52	海面	
61	直線	中心線
62	円弧	
63	クロソイド	
64	その他の緩和曲線	
71	石 杭	境界標
72	コンクリート	
73	合成樹脂杭	
74	不銹鋼杭	
75	その他の境界標	
76	境界計算点	横断歩道・石段等の階段部
99	表現補助データ	

データタイプ	レコードタイプ
面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

間 断 区 分	
コード	内 容
0	間断しない
1～9	間断する(数値は優先順位)

転 位 区 分	
コード	内 容
0	転位しない
1～ 9	座標列の方向に対して右側に転位する
-1～-9	座標列の方向に対して左側に転位する